

第6次阿久比町総合計画 進捗状況中間評価報告書



令和8年3月
阿久比町

目 次

I. 目的と調査方法	1
II. 進捗状況等のとりまとめ	2
1. 前期（令和3年度～令和7年度）における主要事業の進捗状況【全体】	
2. 前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況等及び後期（令和8年度～令和12年度）の方向性【主要事業ごと】	
第1章 自然と調和した心地よさが感じられるまち	3
第2章 豊かな自然と共生する安全・安心なまち	16
第3章 とともに生きる健康・福祉のまち	30
第4章 ひとが輝く教育・文化のまち	48
第5章 未来へつなぐ産業のまち	63
第6章 みんなの思いがカタチを成すまち	73
III. 住民アンケート調査の概要について	85



I. 目的と調査方法

本報告書は、第6次阿久比町総合計画（令和3年度～令和12年度）における計画期間の中間年にあたり、基本計画に掲げた主要事業について、その進捗状況等を調査してとりまとめたものである。

調査方法については、第6次阿久比町総合計画基本計画について、担当課により調査シートを作成し、前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題、前期（令和3年度～令和7年度）における主要事業の進捗状況（A～Dを選択：担当課自己評価）、後期（令和8年度～令和12年度）の方向性等の整理を行った。

なお、調査対象である第6次阿久比町総合計画の体系は次のとおりとなっている。

第6次阿久比町総合計画の体系

まちの将来像 輝く子どもたちをみどりが包むまち・あぐい	
第1章 自然と調和した心地よさが感じられるまち 第1節 土地利用 第2節 市街地整備 第3節 道路・交通網 第4節 河川・水路・ため池 第5節 公園・緑地 第6節 上水道	第4章 ひとが輝く教育・文化のまち 第1節 教育 第2節 青少年健全育成 第3節 生涯学習 第4節 文化芸術 第5節 スポーツ
第2章 豊かな自然と共生する安全・安心なまち 第1節 環境保全 第2節 環境衛生 第3節 下水道 第4節 消防・防災・救急 第5節 交通安全・防犯 第6節 消費者行政	第5章 未来へつなぐ産業のまち 第1節 農業 第2節 商業 第3節 工業 第4節 就労対策・勤労者福祉
第3章 とともに生きる健康・福祉のまち 第1節 子育て支援 第2章 地域福祉 第3節 高齢者福祉 第4節 障がい者（児）福祉 第5節 健康づくり・医療 第6節 社会保障	第6章 みんなの思いがカタチを成すまち 第1節 パートナーシップのまちづくり 第2節 コミュニティ活動 第3節 男女共同参画・多文化共生 第4節 交流 第5節 行政経営



II. 進捗状況等のとりまとめ

1. 前期（令和3年度～令和7年度）における主要事業の進捗状況【全体】

前期(令和3年度～令和7年度)における主要事業の進捗状況を下記の基準に基づき分類すると、主要事業159項目のうち、A「順調に進められ、成果も上がっている。」に分類される主要事業が62項目(39.0%)、B「実施しており、一定の成果はあるが改善等の余地がある。」に分類される主要事業が78項目(49.1%)となっており、計画に掲げた主要事業はおおむね順調に進捗していることがうかがえる。

今後、計画期間の前期における主要事業ごとの成果・残された課題とともに、社会・経済情勢の変化や直近の住民ニーズの動向等を十分に踏まえながら、計画期間の後期における事業等の検討を進めていく必要がある。

**前期（令和3年度～令和7年度）における主要事業の進捗状況
（A～Dを選択：事業担当課自己評価）**

章	項目数	主要事業の進捗状況 評価基準と達成状況			
		A	B	C	D
		順調に進められ、成果も上がっている。	実施しており、一定の成果はあるが改善等の余地がある。	実施しているが、一部で未着手である。	実施予定はあるが、未着手である。
第1章	30	14	5	11	0
自然と調和した心地よさが感じられるまち	100.0%	46.7%	16.7%	36.6%	0.0%
第2章	31	9	22	0	0
豊かな自然と共生する安全・安心なまち	100.0%	29.0%	71.0%	0.0%	0.0%
第3章	34	18	15	1	0
ともに生きる健康・福祉のまち	100.0%	52.9%	44.1%	3.0%	0.0%
第4章	26	10	14	2	0
ひとが輝く教育・文化のまち	100.0%	38.5%	53.8%	7.7%	0.0%
第5章	18	5	9	4	0
未来へつなぐ産業のまち	100.0%	27.8%	50.0%	22.2%	0.0%
第6章	20	6	13	1	0
みんなの思いがカタチを成すまち	100.0%	30.0%	65.0%	5.0%	0.0%
計	159	62	78	19	0
	100.0%	39.0%	49.1%	11.9%	0.0%

※複数の担当課により、進捗状況の評価を行った主要事業は、全体の進捗状況を勘案し、評価を決定した。

※評価基準日は、令和7年12月末日現在で把握できる最新の進捗状況等としている。

2. 前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況等及び 後期（令和8年度～令和12年度）の方向性【主要事業ごと】

基本計画の主要事業ごとの
進捗状況等については次のとおり。



第1章 基本目標1 自然と調和した心地よさが感じられるまち

第1節 土地利用

(1) 土地利用関連計画の見直し、総合調整（まちづくり推進課・産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
土地利用関連計画の見直し、総合調整	町	都市計画マスタープランの見直し 緑の基本計画（緑のマスタープラン）の見直し 農業振興地域整備計画の見直し
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランについては、商業系と産業系の市街地を拡大するための候補エリアを位置付けるために、令和7年度から令和8年度にかけて部分改訂を実施する。（まちづくり推進課） ・農業振興地域については、経済情勢や農業を取り巻く土地利用状況の変化に応じ、個別案件で除外を進めた。また、総合計画や都市計画マスタープランの見直しに則し、行政案件による全体見直しのための基礎調査を行った。（産業観光課） 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C（まちづくり推進課） B（産業観光課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和12年度において、都市計画マスタープランと緑の基本計画（緑のマスタープラン）の全体見直しを行う。（まちづくり推進課） ・行政案件による全体見直しのための基礎調査を基に、農業振興地域整備計画の更新を行う。引き続き、経済情勢や農業を取り巻く土地利用状況の変化に応じ、個別案件で農業振興地域の除外や編入を進める。（産業観光課） 		

(2) 土地利用の促進（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
土地利用の促進	町	各種法令等に基づく調整 土地利用の規制・誘導・適正化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・土地開発行為に関する指導要綱、宅地開発等に関する指導要綱、都市計画法における協議等に基づき、適切な土地利用がなされるよう指導を実施している。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、適切な土地利用がなされるよう、各種法令、要綱等に基づいた指導や助言を行う。 		

(3) 田園空間の保全（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
田園空間の保全	町	田園地帯・みどりの空間・みどりの景観の保全
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画法に基づき、市街化調整区域における開発、建築等を規制することにより、田園地帯におけるみどりの空間・みどりの景観の保全に努めている。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も市街化調整区域における開発、建築等を規制することで、田園地帯におけるみどりの空間・みどりの景観の保全に努める。 		

(4) 対流・交流拠点の形成（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
対流・交流拠点の形成	町・民間	広域的な対流・交流拠点の促進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・知多半島道路阿久比パーキングエリア周辺を「緑のふれあい交流拠点」と位置づけ、愛知県道路公社等関係機関と民間活力を導入した集客交流施設の整備を検討している。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、愛知県道路公社等関係機関と協議を進め、知多半島道路阿久比パーキングエリア周辺に民間活力を導入した集客交流施設の整備を検討していく。 		

第2節

市街地整備

(1) 土地区画整理事業（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
土地区画整理事業	組合・民間	組合土地区画整理事業 市街地内の低未利用地の利用の促進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 市街地内の低未利用地の利用の促進を図るために、土地区画整理事業を計画していた地域においては、地区計画の策定による低未利用地の利用促進を行っている。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 阿久比駅周辺整備事業等において、必要に応じて土地区画整理事業の手法を採用し、市街地内の低未利用地の利用の促進を図る。 		

(2) 中心市街地整備事業（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
中心市街地整備事業	町	中心市街地・幹線道路周辺整備の促進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 中心商業・業務拠点に位置付けられている役場から阿久比駅周辺の賑わい創出のため、複数の候補地より事業化の検討を実施し、候補地を選定するとともに、市街地の拡大を伴う整備を推進している 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、事業手法を決定するとともに、都市計画手続き等の必要な手続きを実施し、阿久比駅周辺の賑わい創出のための整備を促進する。 		

(3) 地区計画の設定（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
地区計画の設定	町	地域の特性を生かした都市基盤の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を生かした都市基盤の充実を目指し、市街化調整区域での開発行為等について、良好な都市環境の維持・形成を図るための地区計画の設定を推進している。地区計画の設定においては、候補地における地権者合意形成等が課題である。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・地権者合意形成、都市計画手続き等を進め、地区計画の設定を推進する。 		

(4) 既成市街地整備事業（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
既設市街地整備事業	町	良好なまちづくりの推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域における暫定用途地域を解消することにより、宅地開発を伴う良好な住宅環境の整備を推進してきた。暫定用途地域解消のための地権者合意形成が課題である。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・暫定用途地域未解消の2地区の地権者合意形成を行い、暫定用途地域を解消することにより、宅地開発を伴う良好な住宅環境の整備を推進する。 		

(5) 都市景観整備事業（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
都市景観整備事業	町	市街地整備に基づく景観整備の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・市街地整備に基づく景観整備の推進のために、愛知県屋外広告物条例に基づき、適切な指導を行っている。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市街地整備に基づく景観整備の推進のために、愛知県屋外広告物条例に基づき、適切な指導を行う。 		

(6) 駐車場整備事業（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
駐車場整備事業	町	駐車場等の誘導・整備
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設等における宅地開発等に関する指導要綱での事前協議、路外駐車場の届出に対して、駐車場等の整備内容を確認し、適切な配置に関する指導に努めている。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、商業施設等における宅地開発等に関する指導要綱での事前協議、路外駐車場の届出に対して、駐車場等の整備内容を確認し、適切な配置に関する指導に努める。 		

(7) 空家等対策事業（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
空家等対策事業	町	空家等対策計画の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに実態調査と所有者への意向調査を実施しつつ、（公社）愛知県宅地建物取引業協会との協定に基づく連携により、「阿久比町空き家バンク」を設置し、空家等の利活用を促進に努めている。今後の町内の空家等現況を把握した上で施策に反映していく。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・空家等実態調査や意向調査の結果を参考とし、令和8年度以降において現行の空家等対策計画の見直しを行うことで空家等の適切な管理や利活用を推進する。 		

(8) 住宅耐震・宅地防災事業（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
住宅耐震・宅地防災事業	町	耐震改修促進計画等の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月に策定した現行の耐震改修促進計画について、令和7年度に改訂を行った。これまで令和3年度から令和12年度までとしていた計画期間について、国や愛知県における同計画と整合性を図りつつ、計画期間を令和17年度までに延長し、耐震性不十分な住宅に関しては令和17年度までに「概ね解消する」とする等新たな目標を定めている。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度に改訂を行った耐震改修促進計画に基づき、耐震診断や耐震改修に係る補助事業等を推進することで、減災に努める。 		

第3節

道路・交通網

(1) 都市計画道路整備事業（建設課）

主要事業	実施団体等	事業概要
都市計画道路整備事業	県・町	未着手区間の早期事業化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・矢高横川線の都市計画変更を実施した。矢高横川線、名古屋半田線、環状線の早期事業化に向けて愛知県に対して要望を行った。名古屋半田線については、愛知県が事業に着手しており、愛知県、東浦町と名古屋半田線事業連絡会を開催することで進捗状況の共有を図っている。環状線については、愛知県、半田市と勉強会を開催し、道路整備計画について協議を行っている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、関係部局と協力して早期事業化に向けて協議を進める。</p>		

(2) 生活道路整備事業（建設課）

主要事業	実施団体等	事業概要
生活道路整備事業	町	狭あい道路の拡幅整備 道路拡幅用地の取得 安全、安心な道路の維持管理
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・狭あい道路のセットバック用地や道路拡幅用地の取得により生活道路の安全性を確保している。また、道路舗装修繕計画に基づき舗装補修を実施し、大字・自治会と協力して道路の維持管理を実施している。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、生活道路の安全性を確保することとともに適正な道路の維持管理を行う。</p>		

(3) 橋梁整備事業（建設課）

主要事業	実施団体等	事業概要
橋梁整備事業	町	橋梁の定期点検の実施 橋梁（87橋）の長寿命化事業
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・5年に1度の点検を令和5年度までに完了した。令和6年度には橋梁長寿命化計画を更新した。また、事業費の平準化を図りつつ、重要度により橋梁の耐震化、長寿命化修繕工事を実施している。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、定期点検を行う。また、長寿命化計画を基に予防保全を実施することで、効率的な維持管理、予算の縮減及び平準化を考慮しながら橋梁の整備を行う。 		

(4) 循環バス事業（防災交通課）

主要事業	実施団体等	事業概要
循環バス事業	町	循環バスの運行
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・循環バスの継続的運行を行った。住民アンケート等を行い、公共交通再編計画を策定した。持続可能な循環バスの運行に際し、ドライバー不足・財源確保が課題となる。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・路線を増やし増便を行い、パターンダイヤを導入することで、利便性の向上を図る。また、循環バスの運行を補完することを目的とした、デマンドタクシーの導入を検討する。 		

(5) 公共交通機関周辺の整備事業（防災交通課・建設課）

主要事業	実施団体等	事業概要
公共交通機関周辺の整備事業	町・民間	交通拠点となる駅前広場や駐輪場等の整備 やバリアフリー化の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・駐輪場の整備については、阿久比駅前駐輪場への屋根の設置について検討をしている。白沢駅には駐輪場がないため設置について検討している。（防災交通課） ・阿久比駅周辺の利便性向上のため、多方面からの利用が可能となるよう事業を進めている。（建設課） 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C（防災交通課・建設課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・検討業務や関係機関との調整を進め、事業進捗を図っていく。（防災交通課・建設課） 		

第4節

河川・水路・ため池

(1) 河川・水路・ため池の整備事業（建設課）

主要事業	実施団体等	事業概要
河川・水路・ため池整備事業	県・町	河川・水路・ため池の整備・維持・保全
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・二級河川阿久比川の河道拡幅、二級河川十ヶ川の高潮対策事業について要望し、愛知県が事業に着手している。また、町事業としても河川、水路、調整池の維持、水害防止のため、浚渫を実施している。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・継続して整備されるよう、引き続き要望を行う。町事業としては整備・維持・保全を行う。</p>		

(2) 多自然川づくり事業（建設課）

主要事業	実施団体等	事業概要
多自然川づくり事業	県・町	自然環境に配慮した河川環境整備
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・阿久比川河道拡幅事業においては、河川整備計画に基づき自然環境に配慮した部材で護岸での施工を計画している。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き要望を行う。</p>		

(3) 親水空間整備事業（建設課）

主要事業	実施団体等	事業概要
親水空間整備事業	県・町	河川堤、ため池の水辺空間の保全
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・親水空間整備として整備した河川、ため池の維持・保全を図るとともに、矢勝川においては親水施設の整備を半田市とともに愛知県へ要望している。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き要望を行う。 		

(4) 河川監視体制整備事業（建設課）

主要事業	実施団体等	事業概要
河川監視体制整備事業	県・町	監視カメラによる河川・除塵機の監視体制の整備
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・監視カメラにより河川の水位・除塵機に漂着する漂流物の堆積状況を常時監視する体制となっている。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・主要な河川においては、監視カメラの設置が完了しているため、監視体制が崩れないよう保守を行う。 		

第5節

公園・緑地

(1) 公園整備事業（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
公園整備事業	町	公園用地の確保と整備 適正な公園の配置
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・民間活力を導入した公園整備を伴う宅地開発が認可され、整備が進められている。今後も公園整備を伴う地区計画の策定が予定されているが、地権者の同意取得が課題である。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・今後も民間活力を導入した公園の整備を行い、住環境の整備に合わせた適正な公園の配置を進めていく。</p>		

(2) 公園管理事業（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
公園管理事業	町	公園施設の維持管理 公園施設長寿命化計画の策定・対策
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・公園を安全に利用出来ることを目的とし、県費補助金を活用しながら、老朽化した設備や遊具の更新等計画的な修繕を行い、維持管理に努めてきた。令和7年度においては、利便性向上を目的とし、富士塚公園においてバリアフリースイレを設置した。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、県費補助金を活用しながら、公園施設の適切な維持管理、利便性向上に努める。</p>		

(3) 緑地保全整備事業（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
緑地保全整備事業	町・民間	緑の基本計画（緑のマスタープラン）の見直し・充実 緑地の保全と確保
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
・令和3年3月に改訂された緑の基本計画（緑のマスタープラン）に基づき、適切な緑地の保全に努めてきた。		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
・引き続き、現行計画に基づき、適切な緑地の保全と確保に努める。あわせて、令和12年度の緑の基本計画の全体見直しに向けて状況整理、課題の抽出等を行う。		

(4) 緑地・緑のネットワーク整備事業（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
緑地・緑のネットワーク整備事業	町	公園・緑地、史跡、神社、公共施設等の地域資源をつなぐ、緑のネットワーク（散策路）の整備
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
・「あいち森と緑づくり税」を財源に、愛知県が実施する「緑の街並み推進事業」を活用し、屋上緑化、壁面緑化、空地緑化、駐車場緑化及び生垣設置の一部費用に対し、補助金を交付することで、町内民有地の建物や敷地の緑化を進めている。		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
・引き続き、屋上緑化、壁面緑化、空地緑化、駐車場緑化及び生垣設置の費用の一部に対し、補助金を交付することで、町内民有地の建物や敷地の緑化を進める。		

(5) 対流・交流拠点の形成（まちづくり推進課）

主要事業	実施団体等	事業概要
対流・交流拠点の形成	町・民間	民間活力等の導入による公園の整備
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
・知多半島道路阿久比パーキングエリア周辺を「緑のふれあい交流拠点」と位置づけられており、周辺の土地利用に合わせた施設整備を検討している。		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
・「緑のふれあい交流拠点」については、引き続き関係機関と協議し、適切な交流施設の拠点形成に努めていく。		

第6節

上水道

(1) 管路施設情報管理事業（上下水道課）

主要事業	実施団体等	事業概要
管路施設情報管理事業	町	管路施設情報を活用し、管路施設維持管理の効率化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・管路施設情報の整理・データ化・更新を進め、維持管理業務の効率化を図った。また、令和7年度末までに、同データを地図情報システムと連携することで他部局と情報共有して活用促進を図る予定である。今後は台帳の一元管理やデータ更新の継続性や精度向上が課題として残されている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・デジタル技術の活用を研究し、管路施設の計画的な更新事業を推進するため、引き続き、管路施設情報の整理、更新に努めるとともに、点検・維持管理の高度化を図り、安定した上水道サービスの確保を進める。</p>		

(2) 管路施設更新事業（上下水道課）

主要事業	実施団体等	事業概要
管路施設更新事業	町	老朽化した配水管の更新に伴う耐震化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・老朽化した配水管の更新については、水道管の耐用年数や過去の漏水実績を考慮し、計画的にダクタイル鋳鉄管や水道配水用ポリエチレン管等の耐震管への更新を進めた。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・老朽化した配水管の更新事業を進めるとともに、上下水道耐震化計画に基づき、対策が必要な避難所等の重要施設に接続する管路について、耐震管への更新事業を進める。</p>		

(3) 配水場施設整備事業（上下水道課）

主要事業	実施団体等	事業概要
配水場施設整備事業	町	本町全域で給水区域の見直しを検討 配水場施設の耐震化 高根配水場の2池目増設を検討
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・高根配水場の2池目増設に代わり、愛知県広域調整池を活用した直結配水事業（愛知県広域調整池から本町の配水地を介さず、直接配水する方式）を完了した。</p> <p>八ヶ谷配水場及び草木配水場については、企業誘致等の計画を考慮し、本町全域で給水区域の見直しを踏まえた効率的な施設更新を進めなければならない。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・八ヶ谷配水場及び草木配水場については耐震性が不足しているため、企業誘致等の計画を考慮し、本町全域で給水区域の見直しを踏まえた効率的な施設更新計画を推進する。</p>		

(4) 事業運営の健全化（上下水道課）

主要事業	実施団体等	事業概要
事業運営の健全化	町	適正な維持管理による施設の長寿命化 管路調査事業による漏水箇所の発見・修繕 施設の共同化等の広域連携について検討
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・施設の長寿命化を図るために、管路調査事業を実施して、漏水箇所の早期発見・修繕に努めた。安定した水道事業経営を持続するため、更新費用の確保、広域連携の具体化が今後の課題として残されている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・効率的な管路調査事業を行うため、デジタル技術を導入してDX推進を図る。あわせて、施設の共同化や広域連携について検討を進め、水道事業経営戦略を基に、今後とも安全・安心な水道水を将来にわたって供給し続けるための持続可能な水道事業運営の確立を目指す。</p>		

第1節

環境保全

(1) 環境保全対策事業（環境課）

主要事業	実施団体等	事業概要
環境保全対策事業	町	環境基本条例の制定及び環境基本計画の策定 環境保全意識の高揚 大気分析調査 ダイオキシン類調査 畜産臭気対策
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 環境基本条例及び環境基本計画については、近隣市町の状況を踏まえ素案を作成している。環境保全意識の高揚を図るため、広報等で啓発を行った。 大気分析調査及びダイオキシン類調査については、毎年度調査を委託して実施している。 畜産臭気対策のため、畜産担当と共に臭気調査を行っている。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 環境基本条例の制定及び環境基本計画の策定を完了させる。 環境保全意識の高揚を図るため、啓発に努める。 引き続き、各種環境調査を行う。 		

(2) 自然エネルギー活用促進（環境課）

主要事業	実施団体等	事業概要
自然エネルギー活用促進	町	住宅用地球温暖化対策設備導入費補助事業 次世代自然エネルギーの活用促進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 住宅用地球温暖化対策設備導入費補助事業の対象を拡大して実施した。 令和8年3月に阿久比町地球温暖化対策実行計画を策定し、ゼロカーボンシティ宣言を行った。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、住宅用地球温暖化対策設備導入費補助事業を推進する。 次世代支援エネルギーの活用を促進するため啓発する。 		

(3) 省エネ・エコ対策の推進（環境課）

主要事業	実施団体等	事業概要
省エネ・エコ対策の推進	町	「もったいない」意識の啓発 クールビズ・ウォームビズの推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 省エネについて啓発した。 町職員のクールビズ・ウォームビズの通年化を実施した。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、省エネ・エコ意識を醸成するための啓発を行う。 		

(4) 湿地の保全・保護（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
湿地の保全・保護	町	自然観察会の開催 湿地環境ボランティアの養成 施設整備の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 自然観察会を毎年度開催し、多くの方が参加している。 湿地環境ボランティアの養成については、後継者確保が問題となっている。 施設整備は、湿地の保全を優先的に考え、充実を図っている。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 自然観察会を継続開催し、より多くの方へ湿地の魅力を伝え、理解と関心の向上を図る。 湿地環境ボランティアの養成については、地域の幅広い層への周知に努める。 施設整備は、湿地の保全を優先とし、充実を図る。 		

(5) 河川の水質浄化（環境課）

主要事業	実施団体等	事業概要
河川の水質浄化	町	合併処理浄化槽設置補助事業 生活排水浄化意識の高揚 河川の水質検査
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 合併処理浄化槽設置補助は、令和5年度から設置費の補助金額を増額、令和6年度から宅内配管工事費を補助対象として、合併処理浄化槽の設置を促進した。 生活排水浄化意識の高揚を図るため、啓発を行った。 河川の水質調査を毎年度委託して実施している。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、合併処理浄化槽設置補助を推進する。 生活排水浄化意識の高揚を図るため、啓発を行う。 引き続き、河川の水質調査を行う。 		

(6) 公害の防止（環境課）

主要事業	実施団体等	事業概要
公害の防止	町	公害防止協定の締結 土壌汚染防止及び監視体制の強化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 公害防止協定の改定を行った。 土壌汚染を防止するためパトロールを行った。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 未締結の事業者と公害防止協定を締結する。 引き続き、土壌汚染を防止するためパトロールを実施する。 		

(7) ホタル関連事業（環境課）

主要事業	実施団体等	事業概要
ホタル関連事業	町	ホタルの育成を通して、自然保護の啓発 ホタルボランティアの養成 施設整備の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ホタルの観察会等で自然保護について啓発した。 ホタルボランティアを募集し、ホタルの保護活動を協力して行った。 養殖場の塗装等を行った。 生息分布調査を行っているが、年々ホタルの生息地域が減少している。また、ホタルの生育状況悪化に伴い、東部小学校と白沢ホタルの里の活動は、令和7年度をもって終了することになった。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、観察会を継続し、ホタルを通して自然保護の重要性を啓発する。 ホタルボランティアを募集し、養殖場でのホタル保護活動を行う。 老朽化した箇所を修繕を行う。 		

第2節

環境衛生

(1) ごみ・し尿の収集処理体制の充実（環境課）

主要事業	実施団体等	事業概要
ごみ・し尿収集処理体制の充実	町・組合	東部知多衛生組合ごみ処理施設整備事業 ごみ分別収集推進事業 粗大ごみ収集 し尿収集体制の見直し・効率化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 東部知多衛生組合のごみ処理施設は、平成31年3月に完成した。 ごみの分別収集を周知した。 粗大ごみ収集を有料・個別回収とするため条例を改正した。 し尿収集体制を効率化するため、収集業者と調整を行った。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ごみの分別収集を促進するため、啓発を行う。 令和9年度から粗大ごみの有料・戸別回収を行う。 し尿収集体制を効率化し、経費を削減するとともに、手数料を見直す。 		

(2) ごみ減量化（環境課）

主要事業	実施団体等	事業概要
ごみ減量化	町	3R運動の推進 生ごみ堆肥化の推進 資源ごみ回収の推進 ごみ処理の有料化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 3R運動を推進するため啓発を行った。 生ごみ堆肥化を推進するため補助金を交付した。 令和5年5月から刈草・剪定枝、6月からプラスチック製品、令和7年6月からミックス古紙と廃食用油を資源として回収した。 令和3年4月から家庭系可燃ごみ処理の有料化を始めた。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、3R運動を推進するため啓発する。 生ごみ堆肥化を推進するため補助制度を拡充する。 資源としてリサイクルできるものを増やすとともに、リユースできるものについても回収を行う。 		

(3) ごみ収集所整備事業（環境課）

主要事業	実施団体等	事業概要
ごみ収集所整備事業	町	ごみ収集所の適正配置
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ごみ収集所を適正配置するため、台帳を整理するとともにGISに登録した。ごみ収集所が多すぎたり少なすぎたりしている。 ごみ収集所の構造が悪く、カラス等によりごみが散乱する。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ごみ収集所台帳等を基に、適正配置に向けて地区と調整を行う。 		

(4) 環境パトロールの実施（環境課）

主要事業	実施団体等	事業概要
環境パトロールの実施	町	不法投棄撲滅のための監視体制強化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄を防止するため、環境パトロール及び啓発看板の配布を行った。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 粗大ごみの有料化を令和9年度から開始するため、環境パトロールを強化する。 		

(5) 合併処理浄化槽の設置促進（環境課）

主要事業	実施団体等	事業概要
合併処理浄化槽の設置促進	町	合併処理浄化槽設置補助事業の周知
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 広報とHPで補助制度について啓発した。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、補助制度の周知を行い、合併処理浄化槽の設置を促進する。 		

第3節

下水道

(1) 管路施設等の更新と維持管理（上下水道課）

主要事業	実施団体等	事業概要
管路施設等の更新と維持管理	県・町	ストックマネジメント計画に基づく管路施設等の計画的な更新 管路施設等の効率的な維持管理によるコスト縮減と支出の平準化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント計画に基づき、管路施設等の点検・調査を行った。 ・コスト縮減のため、管路施設等の点検を近隣市町と共同発注を行う協定を締結した。 ・管路施設等の耐震化を進めるため、令和7年度末までに、総合地震対策計画を策定予定である。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント計画に基づき、管路施設の点検・調査を行い、当該結果に基づく優先度設定により効率的な更新を行う。 ・更新や維持管理に係る事業の共同化を進め、コスト縮減を図る。 ・総合地震対策計画に基づき、管路施設等の耐震診断、耐震化を進める。 		

(2) 持続可能な下水道事業の経営（上下水道課）

主要事業	実施団体等	事業概要
持続可能な下水道事業の経営	町	町民へのPR活動等による接続率の向上 経営状況の把握と検証による健全な下水道事業の運営
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・下水道への未接続世帯に対し、法で接続が義務付けされている旨を個別に説明して接続を促した。 ・経営戦略の結果に基づき、下水道使用料の改定を実施した。 ・接続率の更なる向上や一般会計に依存しない下水道事業の運営を行うために、必要な措置を講じなければならない。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・下水道への未接続世帯に対し、接続を促すための指導を継続する。 ・経営戦略に基づき、健全な下水道事業を運営できるよう、コスト縮減に努めるとともに使用料改定の必要性を検討する。 		

第4節

防災・消防・救急

(1) 地域の防災・減災力の向上（防災交通課）

主要事業	実施団体等	事業概要
地域の防災・減災力の向上	町・地域（自主防災会） ・事業所	各家庭や事業所における災害備蓄品の必要性を周知・啓発 防災マップ等の更新・周知・啓発 災害時の迅速な復旧のため、事業所などとの防災協定締結
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・防災講演会や産業まつり等のイベントでの防災啓発を通じて、各家庭での災害への備えを周知した。また、令和4年3月に防災マップを更新して全世帯へ配布した他、防災出前講座を通じて内容の周知を行った。災害協定については、避難所用品の提供事業者や運送事業者、インフラ関係事業者等多様な事業所と締結した。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・今後も、イベント等での防災啓発を進めるとともに、各地区での防災出前講座や防災訓練を通じて、防災・減災力の向上を図っていく。また、多様な事業所と災害協定を締結することで災害のための備えを進めていく。</p>		

(2) 自主防災会組織の強化（防災交通課）

主要事業	実施団体等	事業概要
自主防災会組織の強化	町・地域（自主防災会）	関係機関と連携した防災訓練の実施 防災リーダーの育成（女性や若者など幅広い担い手の育成） 自主防災会活動支援の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・令和5年度より学区と連携した防災訓練を実施しており、自主防災組織の災害対応力の強化を図っている。また、防災リーダー養成講座や自主防災会研修会を毎年度開催しており、地域での防災の担い手育成を進めている。自主防災会活動に対しては育成補助金、資機材補助金を交付し、自主防災会活動の充実をサポートしている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・学区と連携した防災訓練は令和8年度で1周することとなるが、その後も継続して訓練を実施することで地域との連携強化を図っていく。防災リーダー養成講座については、女性や若者の参加を促すために内容の充実を検討する。自主防災会活動に対しては今後も継続的なサポートを行っていく。</p>		

(3) 災害時要配慮者の支援（防災交通課）

主要事業	実施団体等	事業概要
災害時要配慮者の支援	町・地域（自主防災会）	避難行動要支援者登録制度の周知・登録促進 自主防災会、民生委員・児童委員、地区住民の連携強化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・令和6年度より個別避難計画の作成をスタートさせ、避難行動要支援者への支援体制についてより具体的な内容を充実させている。既に名簿に登録されている方の個別避難計画作成を促進していく必要がある。地区毎の避難行動要支援者名簿を関係者で共有することで連携を図っている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・新規の登録者については充実した個別避難計画の作成を図っていくとともに、既に名簿に登録されている方に対して個別避難計画の作成をより一層推進していく。自主防災会や民生・児童委員に対して避難行動要支援者登録制度の周知を図ることで連携強化を進めていく。</p>		

(4) 災害時の情報収集と伝達体制の充実（防災交通課）

主要事業	実施団体等	事業概要
災害時の情報収集と伝達体制の充実	県・町	防災アプリの導入・登録促進、あんしん防災ねっとの活用 災害時の情報収集・伝達訓練の実施 災害対策本部へのICT導入と利活用
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・令和3年度に防災行政アプリ「アグナビ」を導入し、平常時の行政情報の発信とともに、災害情報をプッシュ通知する体制を構築した。また、アグナビに写真投稿機能を追加して、災害時の被害状況等を収集できるようにした。職員の防災訓練において、アグナビ等を活用した情報集約訓練を実施して体制の強化を図った。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・アグナビの登録者は令和7年4月時点で約7,500人となっているが、更なる登録の促進を行っていく。毎年度の職員防災訓練において情報収集、集約訓練を実施し、体制の強化を図る。災害対策本部へのICTの導入についても検討していく。</p>		

(5) 防災設備の整備（防災交通課）

主要事業	実施団体等	事業概要
防災設備の整備	町	災害備蓄品の分散確保のため、防災倉庫など防災体制の強化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・丸山防災倉庫が手狭となっていることから、備蓄品の一部を阿久比スポーツ村交流センターへ移動しており、旧給食センターへの移動についても進めている。また、避難所となる町内の4小学校へも発災後すぐに必要となる備蓄品を分散して備蓄している。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・丸山防災倉庫、阿久比スポーツ村交流センター、旧給食センターへ備蓄品の品目ごとに分散して保管するように備蓄体制を構築する。また、小学校以外の避難所へも分散備蓄を進める。</p>		

(6) 避難所・避難場所の運営（防災交通課）

主要事業	実施団体等	事業概要
避難所・避難場所の運営	町	避難所・避難場所の整備 避難所における感染症対策への強化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・阿久比スポーツ村交流センター及び阿久比高校を新たに指定避難所として指定するとともに、宮津団地中央公園を指定緊急避難場所に指定した。避難所における感染症対策として、各避難所に感染症対策用品を配備した。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・指定避難所、指定緊急避難場所については町内で指定可能な公共施設は既に指定しているため、新たな指定は難しい状況である。今後は、避難所の開設と運営の方法を各地区の自主防災会へ周知し、訓練を実施していく。</p>		

(7) 広域消防・救急体制の充実（防災交通課）

主要事業	実施団体等	事業概要
広域消防・救急体制の充実	町・知多中部広域事務組合	消防・救急資機材の計画的な更新 高度救急処置に対応できる救命救急士の養成など技術向上のための人材育成 救命講習会への参加促進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・半田消防署阿久比支署の消防・救急車両は計画的な更新を行っている。また、救急救命士の養成・採用も計画的に行っており、資格を有した署員は増加している。知多中部広域事務組合消防本部にて実施している救命講習をアグナビ等で広報し、住民への周知を行っている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・今後も半田消防署阿久比支署の車両等の更新を計画的に行っていくとともに、支署の建物の老朽化対策も検討していく。救急救命士については今後も計画的に養成・採用していく。引き続き、救命講習の開催をアグナビ等で周知し参加を促進する。</p>		

(8) 消防団活動の活性化（防災交通課）

主要事業	実施団体等	事業概要
消防団活動の活性化	町・地域	消防団への加入促進 訓練や研修など技術向上のための人材育成 女性消防団による予防の啓発はじめ機能別消防団の活動促進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・令和6年度より消防団の組織を5分団制から小学校区を区分とする4分団制に変更し、より地域に根差した消防団組織とした。女性消防団は火災予防の啓発を継続して行うとともに、防災啓発活動にも積極的に取り組んでいる。消防団員数は全国的にも減少傾向であり、本町においても今後減少することが懸念される。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・消防団活動をさらに活性化させていくため、団員の加入促進を行っていく。また、消防操法大会を中心とした技術向上を継続的に実施していくことで、災害への対応力を強化する。</p>		

(9) 消防施設・設備の整備（防災交通課）

主要事業	実施団体等	事業概要
消防施設・設備の整備	町	消防水利（消火栓・防火水槽）の維持管理 消防団詰所の整備 消防車両の更新
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・既存の消防水利を適切に維持管理するとともに、消防水利の空白地については半田消防署阿久比支署と検討のうえ消火栓の新設を行っている。消防団詰所、消防車両等は活動に支障をきたさないよう修繕を実施している。</p>		
<p>前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入</p>		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・消防水利については半田消防署阿久比支署と協力し、適切な維持管理を継続していく。消防車両は計画的に更新していくが、現在のトラックタイプのみではなくバンタイプや小型車両についても可能性を検討する。</p>		

第5節

交通安全・防犯

(1) 交通安全意識の啓発（防災交通課）

主要事業	実施団体等	事業概要
交通安全意識の啓発	町・地域	各地区、学校などにおける交通安全教室 交通安全キャンペーンの実施 自転車損害賠償保険等への加入の促進 高齢者の運転免許証返納の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園、小学校での交通安全教室、交通安全キャンペーンを実施した。 「歩行者優先宣言のまち」を宣言した。 ・ 地域・企業と協力し、交通安全キャンペーンを実施した。 ・ 自転車運転の安全性向上のため自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金を実施した。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全教室や交通安全キャンペーンのより効果的な実施方法を検討する。 ・ 地域・企業と協力し交通安全キャンペーンを実施する。 ・ 自転車運転の安全性向上のため自転車乗車用ヘルメット着用促進事業費補助金を実施する。 		

(2) 交通安全施設の整備（防災交通課・建設課）

主要事業	実施団体等	事業概要
交通安全施設の整備	県・町 ・地域	危険個所の把握と施設整備
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と協力し、危険個所の把握を行った。 地域の要望を、警察及び道路管理者へ繋げた。（防災交通課） ・ 大字・自治会からの危険個所の改善要望を受けている。また、通学路交通安全プログラムにおいて、各小中学校からの要望を受けており、合わせて危険度に応じて優先度を設定し、施設整備を行っている。（建設課） 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B（防災交通課） A（建設課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域と協力し、危険個所の把握を行う。 地域の要望を、警察及び道路管理者へ繋る。（防災交通課） ・ 職員による道路パトロールと合わせて、引き続き危険個所を把握して施設整備を行う。（建設課） 		

(3) 防犯意識の高揚（防災交通課）

主要事業	実施団体等	事業概要
防犯意識の高揚	町・地域	防犯キャンペーンの実施 啓発資機材の活用
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 店頭等で知多事務所防犯担当者と定期的に防犯キャンペーンを行った。 地区要望の出前防犯教室を実施した。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 店頭等で知多事務所防犯担当者と定期的に防犯キャンペーンを行う。 地区要望による出前防犯教室の実施し防犯意識の高揚を図る。 		

(4) 防犯体制の強化（防災交通課）

主要事業	実施団体等	事業概要
防犯体制の強化	町・地域	自主防犯団体の育成 防犯パトロール講習会の実施 安全・安心パトロールカーの活用 自主防犯団体への資器材の提供 防犯カメラの設置 大字・自治会の防犯カメラ設置に対する補助
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心パトロールカー（青パト）を活用した地区防犯活動の継続。 防犯カメラの点検及び設置を実施した。猛暑に伴う設備の劣化が課題となっているため、効果的に修繕を実施する。 大字・自治会が設置した防犯カメラに補助を行った。 特殊詐欺対策装置購入費補助金事業を実施。簡易型自動録音機を窓口配布した。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラの設置・修繕等維持管理を行う。 大字・自治会が設置した防犯カメラ設置に対する補助を行う。 特殊詐欺対策装置購入者へ補助を行う。 簡易型自動録音機の継続配布。 		

(5) 防犯灯新設及び維持管理（防災交通課）

主要事業	実施団体等	事業概要
防犯灯新設及び維持管理	町	防犯灯の計画的設置及び修繕等維持管理
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯の計画的設置及び修繕等維持管理を行った。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、大字・自治会からの要望により設置を行う。 		

第6節

消費者行政

(1) 消費者意識の向上（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
消費者意識の向上	町	消費者問題の情報提供 広報紙へ消費生活相談事例掲載 消費生活講座等の開催 消費生活展の開催
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・広報紙に消費生活相談事例・消費生活センター情報を掲載し、消費者被害を防ぐための情報提供を行い、消費者意識の向上を図った。くらしの講座や消費生活展を開催し、消費者教育を推進した。特に被害に遭いやすい高齢者に向けて、「訪問販売お断りステッカー（消費生活センターの電話番号入り）」を配布した。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・広報紙での情報提供を継続していく。くらしの講座や消費生活展は、内容や方法を検討し、消費者被害を防ぐためにより効果的な事業を実施する。</p>		

(2) 消費生活相談体制の充実（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
消費生活相談体制の充実	構成市町	広域行政による知多半田消費生活センターの相談体制の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・半田市・東浦町・武豊町・美浜町・南知多町・阿久比町の1市5町の広域行政で知多半田消費生活センターを開設し、相談体制を整備している。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、現体制を維持することで、消費者が相談できる場を確保し、相談体制の充実を図る。</p>		

(3) 消費者団体への支援（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
消費者団体への支援	町	消費団体の育成
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・「あぐいくらしの会」に補助金を交付し、消費生活に関する知識の向上と賢い消費者を目指して、啓発活動や消費者教育への取組みを支援した。令和7年度末をもって会が解散となるため、活動内容の一部を他団体へ引き継いでいく。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・「あぐいくらしの会」が解散となり、消費者団体は無くなるが、活動内容の一部を引き継ぐ団体と連携を図る。</p>		

第1節 子育て支援

(1) 保育の充実（児童保育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
保育の充実	町・社会福祉法人・NPO 法人	保育を希望する児童の安全で円滑な受け入れ態勢の整備 延長保育・一時預かり事業・障がい児保育・乳幼児保育・病児保育など、多様な保育サービスの実施 幼保小中一貫教育の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・保育園での延長保育、一時保育、障がい児保育、乳幼児保育等については、地域の実情及びニーズに対応し、実施することができている。また、幼保小中一貫教育プロジェクトにより、園・学校と家庭・地域が連携した取り組みを進めた。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・少子化の進行や保護者の就労形態の多様化、また、配慮を要する児童の増加等、保育を取り巻く環境は引き続き変化していくことが見込まれる。今後は、令和8年4月から開始される「こども誰でも通園制度」を含め、延長保育や一時預かり、障がい児保育、病児保育等の取組を継続し、児童の安全を最優先とした受け入れ体制の維持・充実と幼保小中一貫教育の推進による切れ目のない支援体制の構築を進める。</p>		

(2) 児童の健全育成（児童保育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
児童の健全育成	町	放課後児童健全育成事業（学童保育）の実施 子ども会活動の活性化の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・学童保育では、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に、授業の終了後に適切な遊びや生活の場を提供し、引き続き児童の健全な育成を図った。また、令和2年度から開始した、夏休み・冬休みのみ利用する長期休暇限定児童クラブも引き続き行った。町内の子ども会には、引き続き活動費補助を行い、子ども会の活性化の推進を図っている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に、授業終了後の遊びの場や生活の場を提供し、指導員の活動支援のもと、児童の健全育成を図っていく。平日の放課後の他、土曜日、夏休み等も実施する。子ども会についても、引き続き活動費の補助を行い、子ども会の活性化の推進を図っていく。</p>		

(3) 要保護児童などへの対応の推進（保健こども課）

主要事業	実施団体等	事業概要
要保護児童などへの対応の推進	町	要保護児童の積極的把握 家庭児童相談員・主任児童委員等による相談、 支援体制の整備・充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・要保護児童等の適切な保護・支援を図るため、毎年度要保護児童対策地域協議会を年1回、実務担当者による連絡調整会議を月1回開催し、関係機関と連携・協力したうえで、必要な調査及び支援方法の検討を実施している。令和7年度からは、こども家庭センターが事務局を担い、より連携した相談支援体制が整備できている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・関係者間における継続的な連携体制を構築するとともに、他市町村の実施方法等も参考にしながら、様式の改正（毎月開催する実務者会議資料の各ケースに「支援目標」及び「支援内容」を追加）並びに目安及び基準の改善（月別アセスメントシートの改正及び受理会議アセスメントシートの整備）を行い、さらに充実した相談支援体制の整備を目指す。</p>		

(4) 施設の整備充実（児童保育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
施設の整備充実	町・社会福祉法人・NPO法人	保育園の適正配置 保育園園舎等の長寿命化及び施設整備 民間保育園の誘致
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・令和3年度以降、各保育園においてエアコンの取替や手洗い設備の更新、外装・屋根改修、床工事等を実施し、保育環境の維持・改善に取り組んできた。一方で、施設の老朽化への継続的な対応や、今後の保育需要の変化を見据えた施設整備のあり方について検討が必要となっている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・今後は、保育需要の動向や施設の老朽化状況を踏まえ、計画的な園舎等の施設整備を進めるとともに、効率的かつ持続可能な保育施設の運営に向けた検討を行う。引き続き、児童が安全・安心に過ごせる保育環境の確保に努める。</p>		

(5) 子育て支援の充実（住民医療課・保健こども課）

主要事業	実施団体等	事業概要
子育て支援の充実	町・社会福祉法人・NPO 法人	子ども医療費、母子（父子）家庭等医療費などの助成 子ども総合支援センター等での子育て相談の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・子ども医療費の助成については、令和6年10月に通院高校生世代まで対象年齢を拡充した。町の財政負担は生じるが、子どもが医療を受けやすい環境づくりの推進と子育て世帯の負担軽減につながっている。（住民医療課）</p> <p>・子育て支援センターにおいて、地域の子育て家庭に対する育児支援のため、子育てに関する相談に保育士が応じている。保護者のニーズを踏まえた親子遊び、リフレッシュ及びスキルアップのための講座の開催、ファミリー・サポート・センター事業等を実施し、子育て支援の充実を図っている。（保健こども課）</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B（住民医療課） A（保健こども課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・子ども医療費の助成については、現状維持。母子（父子）家庭等医療費の助成についても引き続き継続していく。ホームページを活用し、医療機関の適正受診について周知していく。（住民医療課）</p> <p>・子育てに関する相談体制及び保護者のニーズを踏まえた講座の開催等を継続していく。ファミリー・サポート・センター事業は、依頼会員の会員数に比べ、援助会員の会員数が少なくなっているため、援助会員の増加に向けて、周知啓発活動を推進する。（保健こども課）</p>		

(6) ひとり親家庭福祉の充実（児童保育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
ひとり親家庭福祉の充実	国・県・町	福祉制度の周知と適正運用 就業支援のための情報提供 町遺児手当の支給など経済的支援
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、町ひとり親等手当（令和4年度に町遺児手当から町ひとり親等手当へ名称変更し、所得制限等を設けた。）を支給している。また、県と連携しながら就労支援や相談体制、経済的支援の充実等、様々な側面からの支援を案内した。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するため、引き続き町ひとり親等手当を支給していく。また、県と連携しながら就労支援や相談体制、経済的支援の充実等、様々な側面からの支援を案内していく。</p>		

第2節

地域福祉

(1) 地域福祉計画の策定・推進（ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
地域福祉計画の策定・推進	町・社協	地域福祉計画の策定及び推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉計画の策定・推進を社会福祉協議会に委託。令和8年度末に第2次地域福祉計画の計画期間が終了するため、令和7年度・8年度の2カ年で、第3次地域福祉計画を策定する。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・第3次地域福祉計画を令和7年度・8年度の2カ年で策定し、令和9年4月から推進していく。計画は6カ年の計画である。 		

(2) 福祉関係団体の活動支援（ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
福祉関係団体の活動支援	町・社協	民生委員・児童委員、福祉ボランティア団体の活動支援体制の強化 社会を明るくする運動の推進 社会福祉協議会の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年12月に実施した、民生委員・児童委員の一斉改選を欠員なく完了した。ボランティアセンターの運営を社会福祉協議会に委託し、ボランティア団体の活動支援を実施しているが、ボランティア団体の登録件数は減少傾向である。社会を明るくする運動の推進のため、講演会や大会を開催した。一方で、社会を明るくする運動の啓発のための習字等の作品募集について、応募作品数が集まらず、啓発活動に苦慮している。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会と連携し、社会福祉協議会に運営を委託しているボランティアセンターの活動により、ボランティア団体の活動支援を実施する。また、地域福祉計画推進事業で、ボランティアを始めるためのきっかけ講座を実施し、新たな担い手を発掘する。社会を明るくする運動の講演会や作品募集を引き続き実施する。作品募集については、作品のコンテンツを応募しやすい物に変更し、応募作品数が増えることにより、啓発効果を高める。 		

(3) 担い手の育成（ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
担い手の育成	町・地域・社協	次世代につながる担い手の育成 ボランティアセンターの機能強化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・ボランティアコーディネーターをボランティアセンターに配置した。ボランティアセンターにより、ボランティア団体の活動支援を実施した。ボランティア団体員の高齢化により、団体活動が維持できなくなり、団体数・団員が減少傾向である。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・ボランティアセンターの活動により、ボランティア団体の活動支援を実施する。ボランティア団体同士の交流のため交流会を実施し、団体の活性化を図る。</p>		

(4) 交流や支え合い活動の地域の基盤づくり（ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
交流や支え合い活動の地域の基盤づくり	町・地域・社協	地域の交流や支え合い活動の支援
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・交流やサロン等の支え合い活動を実施した。今後の課題として、サロン等の支え合い活動の担い手が不足している。また、サロン活動を実施していない地区もあるため、サロン活動の意向を確認し、立ち上げの支援を行うことが必要である。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、交流やサロン等の支え合い活動を実施する。サロン等の福祉関係団体の活動を支援する。サロン活動を実施していない地区には、サロン活動の意向を確認し、立ち上げの支援を実施する。</p>		

(5) 包括的な相談支援体制の構築（ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
包括的な相談支援体制の構築	町・地域・社協	各分野の専門機関（県就労支援員・成年後見センター等）による横断的な支援体制の構築 身近な生活課題の解決に向けた住民同士の支え合いや助け合いの体制づくり コミュニティソーシャルワーカーによる訪問支援等の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・困り事相談、無料法律相談、ハローワークの巡回相談、権利擁護支援センターによる成年後見制度巡回相談等を実施した。一方で開催日によっては、相談がないことがある。 コミュニティソーシャルワーカーが困窮者等の訪問支援等を実施し、必要な支援を提案・提供している。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・困り事相談等事業の周知を実施する。コミュニティソーシャルワーカーの訪問活動等を引き続き実施する。</p>		

第3節

高齢者福祉

(1) 高齢者の自立生活の支援（ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
高齢者の自立生活の支援	町	ひとり暮らし高齢者等の自立生活支援 外出・移動支援事業の充実 通いの場の設置等閉じこもり防止策の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・ひとり暮らし高齢者の調査を民生委員に依頼し毎年度実施しているが、ひとり暮らし高齢者は年々増加している。外出・移動支援については、地域の商業施設と地元企業の協力のもと「でかけエール事業」を実施していたが、企業の人員不足等の影響で、令和7年度は実施できていない。通いの場については、ふれあいクラブ（宅老所）を設置しているが、利用者・担い手ともに減少傾向にある。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・ひとり暮らし高齢者の調査は引き続き実施していく。外出・移動支援について、「でかけエール事業」に代わる事業を検討していく。ふれあいクラブについては、クラブの周知、担い手の負担軽減等を代表者と話し合いながら進めていく。</p>		

(2) 認知症への理解と支援（ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
認知症への理解と支援	町	住民への認知症への理解と啓発 認知症サポーターの養成
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・認知症への啓発等は、令和3年から7年までで3回の講演会を開催し、延べ335人が参加している。認知症サポーターの養成は、令和3年度から毎年養成講座を開催し延べ525人が受講しているが、養成数の目標値には達していない。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、講演会等で認知症への理解と啓発に努めていく。また、認知症サポーター養成については、町域全体の開催だけでなく、地区の通いの場等での開催も行い、養成数の拡大を目指していく。また、チームオレンジの設置も実施していく。</p>		

(3) 高齢者の健康づくりの推進（ふくし課・保健こども課・住民医療課）

主要事業	実施団体等	事業概要
高齢者の健康づくりの推進	町	介護予防の重要性について啓発活動の推進 各種講座の開設による実践的健康づくりの推進 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・毎年、フレイル予防教室や地域いきいき福祉活動、元気アップ教室等を実施することで、介護予防の啓発と健康づくりを進めている。また、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施については、年に1回、医療担当者が中心となり、高齢・医療・保健の各担当でデータを分析し、町内の高齢者の健康状態の把握に努め、状況によって個別の健康アプローチをしている。（ふくし課）</p> <p>・介護予防事業や健康増進事業の各種講座の開催を通じて、高齢者が主体的に健康づくりに取り組む機会の充実を図った。また、関係各課と協力し、高齢者の保健事業と介護予防事業を一体的に実施することで、切れ目のない支援体制の構築を図った。一方で、参加者の固定化や、より幅広い高齢者への周知が課題として残っている。（保健こども課）</p> <p>・ハイリスクアプローチ（個別支援）とポピュレーションアプローチ（集団支援）を合わせて実施（住民医療課）</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B（ふくし課） B（保健こども課） B（住民医療課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・介護予防教室については、定員が埋まってしまうことも多く、さらなる拡大を検討する。高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施については、引き続き、データを分析し個別の健康アプローチを実施していく。（ふくし課）</p> <p>・引き続き、介護予防や健康増進に関する啓発や講座の充実を図るとともに、保健事業と介護予防事業を一体的に実施することで、高齢者が住み慣れた地域で健康に生活できるよう支援体制の強化を図る。（保健こども課）</p> <p>・健診未受診者には受診勧奨を実施していく。また、健診結果による訪問指導等を拡充して実施していく。（住民医療課）</p>		

(4) 地域包括支援センターの充実（ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
地域包括支援センターの充実	町	高齢者や家族等が抱える問題解決のための相談体制と関係者間の連携の強化 高齢者の人権・財産を守るための成年後見制度等 権利擁護業務の周知と体制の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・令和7年度に専門家の確保と重層的支援体制整備を見据えて、地域包括支援センターを町直営から社会福祉協議会への委託に変更した。今後は新体制での関係者間の連携が課題。</p> <p>成年後見制度については、権利擁護支援センターに4市5町で事業の委託をしている。令和4年度から権利擁護支援センターは中核基幹となっている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・地域包括支援センターについては、人材の育成を進め、関係者間での連携強化に努めていく。また介護予防サービス計画等の積極的な受任をしていく。成年後見制度の周知等については、権利擁護支援センターと連携し、個別に必要な方に周知を実施していく。</p>		

(5) 高齢者の生きがい活動の支援（ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
高齢者の生きがい活動の支援	町	高齢者能力活用推進事業の推進(シルバー人材センターへの助成等)
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・シルバー人材センターへの助成を通じ、高齢者が就労等を通じて生きがいを高めることができるように支援している。また、総合事業のエプロンサービス事業を委託することで、就労機会の充実を図っている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、助成と事業委託を通じ、就労機会の充実と生きがいを高めることができるように努めていく。</p>		

(6) 介護保険事業の健全な運営（ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
介護保険事業の健全な運営	町	民間事業所に対する適切な運営についての指導と連携の強化 介護サービス利用の適正化の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・毎年度の居宅介護支援事業所へのケアプラン点検と指定事業所の指定期間内に1回以上運営指導を実施することで、事業所との連携強化を図り、介護サービス利用の適正化の推進に努めている。また、毎年度、全指定事業所を対象とした、集団指導を実施している。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、ケアプラン点検、運営指導、集団指導を実施することで、連携の強化と適正化の推進に努めていく。</p>		

(7) 地域包括ケアシステムの推進（ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
地域包括ケアシステムの推進	町	高齢者の日常生活に必要な医療、介護、予防、生活支援、住まいが地域で利用できる地域づくり 高齢者を地域で支え合う連携体制（担い手養成）の構築 生活支援コーディネーターの活動促進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・医療と介護予防についてはACPを推進し、あぐネットの普及啓発にも取り組んでいる。また、令和7年度からは災害時の包括ケアシステムについても多職種連携研修会などで、話し合いを進めている。生活支援についても生活支援コーディネーターを設置し、担い手養成講座を実施して体制の構築に努めている。住まいについては、まちづくり推進課と情報共有を実施している。担い手については、活動者の高齢化と養成講座への参加者数の減少が課題となっている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・今後、災害時の包括ケアシステムについて検討を進めていく。担い手については、社会情勢を鑑みると減少が見込まれるが、引き続き講座や啓発を実施することで減少に歯止めをかけていく。</p>		

第4節

障がい者（児）福祉

（1）障がい者（児）支援の総合的推進（ふくし課・児童保育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
障がい者（児）支援の総合的推進	町	障がいのある人が地域で自立した生活を送るための基盤として障害福祉サービス（介護・訓練等給付）や地域生活支援事業の充実 障がい児の通所支援制度の利用による療育支援の充実 障害者医療費助成事業や障害者手当などによる経済的支援 相談支援体制の強化・充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・障害福祉サービスについては適切な支給を実施、地域生活支援事業については宿泊体験事業の対象年齢の引き下げを実施、障害者手当については支給額の増額を実施した。</p> <p>地域生活に課題を抱える障がいのある人への相談支援体制については、複合課題を抱えている方への支援に難航するケースが多く、支援体制は不十分であった。（ふくし課・児童保育課）</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B（ふくし課・児童保育課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・障害福祉サービスについては引き続き適切な支給を実施、地域生活支援事業等についてはニーズの把握に努め必要に応じて事業の拡充等を検討する。相談支援体制については町障がい者相談支援センターを中心に他機関との連携を深め、複合課題にも対応可能な支援体制の確保を目指す。（ふくし課・児童保育課）</p>		

（2）障がい者（児）の社会参加の促進（ふくし課・児童保育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
障がい者（児）の社会参加の促進	町	就労支援・移動支援・意思疎通支援など社会参加に関わるサービスの充実 障がいのある人の居場所の確保・充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・社会参加に関わるサービスについては、利用希望者が増加したが、適切な支給等を実施した。障がいのある方の居場所の確保については、令和7年度より地域活動支援センターの委託先が変更となったが、利用者は減少せず、一定の利用状況がみられた。（ふくし課・児童保育課）</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A（ふくし課・児童保育課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・社会参加に関わるサービスについては引き続き適切な支給を実施するとともに、利用希望者等のニーズの把握に努め、必要に応じて事業の拡充等を実施する。障がいのある人の居場所の確保については、地域活動支援センターの利用者のニーズの把握に努め、必要に応じて事業の拡充等を実施する。（ふくし課・児童保育課）</p>		

(3) 心のバリアフリーの推進（ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
心のバリアフリーの推進	町	様々な障がいに対する理解を深めるため、住民や事業所などに対する広報・啓発活動の推進 ヘルプマークやヘルプカードの配布・利用促進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・広報・啓発活動の推進については、町自立支援協議会事業等による広報への記事掲載等毎年継続して実施した。ヘルプマーク及びヘルプカードの配布については、継続して実施した。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・広報・啓発活動の推進については、広報への記事掲載等を継続して実施し、様々な障害に対する理解の促進を図る。ヘルプマーク及びヘルプカードの配布については、継続して実施する。</p>		

(4) 障がい者団体への支援（ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
障がい者団体への支援	町	障がい者団体の育成と活動支援
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・障がい者団体への補助は継続して実施したが、コロナ禍の活動減少等により会員数が減少しており、団体からの要望により、ふくし課窓口にて会員募集のチラシの配布を開始した。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・障がい者団体への補助は継続して実施する。会員数の増加等、必要に応じて各団体の支援を実施し、活動等の充実を図る。</p>		

(5) 障がい児の保育・教育の充実（児童保育課・学校教育課・保健こども課）

主要事業	実施団体等	事業概要
障がい児の保育・教育の充実	町	障がい児保育や特別支援教育の体制整備と充実 児童発達支援事業所での療育支援の体制整備と充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・個別の発達支援計画「きらきらファイル」の作成・定期的な面談の実施や個人情報・プライバシーの適切な保護に努め、障がい児保育の体制整備と支援の充実を図った。（児童保育課）</p> <p>・指導主事と特別支援教育指導員が連携して町内の園・小中学校を巡回し、保護者及び教員に、発達の気になる子どもの相談・指導を行った。特別支援学級では、学校支援員による支援や聴覚補助器具購入等の補助を実施。教員に対する特別支援教育研修を実施し、力量向上に努めた。（学校教育課）</p> <p>・小学校就学前の発達に支援が必要な児童を対象に、専門知識・技能を備えた作業療法士、言語聴覚士及び療育相談専門員と協力し、日常における基本的な動作や知識技能の習得を支援することにより、基本的な生活習慣や集団への適応性を養い、スムーズに集団生活に適応できるよう支援を行う療育・相談支援の充実を図った。（保健こども課）</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A（児童保育課） A（学校教育課） B（保健こども課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、障がい児一人ひとりの特性や発達段階に応じた保育を推進するとともに、関係機関や保護者との連携を図りながら、障がい児保育の体制整備と支援内容のさらなる充実に努める。（児童保育課）</p> <p>・児童生徒数見込では減少傾向に入るが、支援が必要な児童生徒について、学校・保護者と連携しながら必要な支援を継続する。限られた予算で、必要な児童生徒に支援が行き渡るよう、人材確保や支援の充実に努める。（学校教育課）</p> <p>・児童発達支援事業所てくてくの利用児童が減少していることを踏まえ、令和8年度から3歳児における単独療育及び町立保育園等との並行利用を実施し、事業所における受入体制の充実を図る。（保健こども課）</p>		

第5節

健康づくり・医療

(1) 健康づくりの推進（保健こども課）

主要事業	実施団体等	事業概要
健康づくりの推進	町	各種講座・教室の開催による正しい健康知識の普及や健康づくりの推進 食育活動の推進による健康づくり 健康づくりリーダーや食生活改善推進員協議会などとの連携強化 健康診査後におけるフォロー体制強化 感染症等に対する予防の啓発
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・本町における健康課題を踏まえ、糖尿病予防教室、高血圧予防教室、骨粗しょう症予防教室等の各種教室を健康づくりリーダーや食生活改善推進員等と連携しながら毎年度実施した。また、健康診査後には必要に応じて、個々の生活に合わせた保健指導を行い、生活習慣病予防及び重症化予防に努めた。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・本町における健康課題に応じた各種健康教室や健康診査後の個別保健指導等を継続して実施する。また、地区団体等の要望に合わせて、地区公民館等での健康教育を実施することで、健康づくりの正しい知識の普及啓発を図り、一人ひとりが主体的に健康管理に取り組めるよう支援する。</p>		

(2) 各種検診の受診率の向上（保健こども課）

主要事業	実施団体等	事業概要
各種検診の受診率の向上	町	生活習慣病予防や、がんの早期発見に向けた各種検診の充実と受診率向上に向けたPRの強化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・町民のニーズに合わせ、各種検診を土日や夕方、他の健診と併せて受診できる日を設けるとともに、令和6年度より個別医療機関での肺がん検診を開始する等、受診しやすい体制の構築を図った。また、広報や他の健診会場での周知に加え、対象者にがん検診無料クーポン券を個別送付し、受診率の向上を図った。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・各種検診を定期的に受診し、疾病の早期発見・早期治療につなげるため、引き続き周知を行う。また、より多くの方に受診してもらえるよう、周知方法や内容について検討し、受診率の向上を図る。</p>		

(3) 母子保健の充実（保健こども課）

主要事業	実施団体等	事業概要
母子保健の充実	町	妊産婦、乳幼児健康診査の充実 子育てに関する相談体制の強化 子育て世代包括支援センター事業の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・令和7年度から、よりリスクの高い多胎妊婦に対し、妊婦健康診査受診券を5回分増やして交付している。また、令和7年度に子育て世代包括支援センターからこども家庭センターへ移行し、従来の保健師、管理栄養士による相談体制に、臨床心理士及び家庭児童相談員が加わり、より連携・充実した相談支援体制を整備した。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、多職種による相談を行い、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を目指す。また、妊娠期からの伴走型支援を行い、保健センターとこども家庭センターの連携体制を強化し、適時適切な支援を実施していく。</p>		

(4) 専門職員の確保と充実（保健こども課）

主要事業	実施団体等	事業概要
専門職員の確保と充実	町	多様化する保健ニーズに対応するため臨床心理士、歯科衛生士など専門職員の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・令和7年度に保健センター内にこども家庭センターを開設したことで、従来の保健師、管理栄養士に加え、臨床心理士及び家庭児童相談員を新たに配置し、専門職員の充実を図った。多様化・複雑化する相談に対応できる体制が整い、関係機関とより連携しやすくなった。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、専門職員の確保と資質向上に努め、それぞれの専門性を活かした相談支援体制の充実を図る。また、関係機関との連携を強化し、多様な課題に対して、切れ目のない支援が提供できる体制づくりを進める。</p>		

(5) 医療機関との連携強化（保健こども課）

主要事業	実施団体等	事業概要
医療機関との連携強化	町	保健・福祉と医療機関の連携強化 医療体制の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・令和2年度より新型コロナウイルス感染症が流行し、令和3年度より新型コロナウイルスに対する予防接種が開始された。町内医療機関との緊密な連携により、個別医療機関による接種体制が確保でき、住民が安心して予防医療を受ける体制の充実を図ることができた。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、医療機関との連携を強化し、平時からの情報共有や体制整備を進めることで、地域における医療体制の充実を図る。また、感染症や災害発生時などにも円滑に対応できるよう、関係機関と連携した体制づくりを進める。</p>		

(6) 救急医療体制の充実（保健こども課）

主要事業	実施団体等	事業概要
救急医療体制の充実	町	休日・夜間診療体制の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・休日・夜間診療体制の維持に努め、救急医療を必要とする住民が適切な医療を受けられる体制の確保を図った。一方で、医療機関や医療従事者の負担増加といった課題もあり、安定した医療体制の維持が求められている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・関係機関との連携を図りながら、休日・夜間診療体制の維持・充実に努め、救急医療を必要とする方が安心して医療を受けられる体制の確保を進める。また、地域の医療資源を踏まえ、持続可能な救急医療体制の構築を目指す。</p>		

(7) 新型インフルエンザ等対策行動計画の充実（保健こども課）

主 要 事 業	実施団体等	事 業 概 要
新型インフルエンザ等対策行動計画の充実	町	新型インフルエンザ等対策行動計画の見直し 予防活動の啓発
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・令和2年度より新型コロナウイルス感染症が流行し、広報やホームページ、電光掲示板、防災無線等を活用した啓発を行った。また、町内医療機関と連携し、感染症予防啓発を推進した。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・国や愛知県の動向を踏まえ、令和8年度に町の行動計画の見直しを実施する予定である。また、平時から関係機関との連携を強化し、感染症発生時に迅速かつ適切に対応できる体制の強化を図る。</p>		

第6節

社会保障

(1) 国民健康保険事業の健全な運営の推進（住民医療課）

主要事業	実施団体等	事業概要
国民健康保険事業の健全な運営の推進	県・町	特定健診、特定保健指導の推進 医療費適正化の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・特定健診の受診率は、令和5年度は50.0%、令和6年度は54.0%（法定報告速報値）。と増加傾向。特定保健指導の実施率は、令和5年度は71.4%、令和6年度は70.9%（法定報告速報値）と高い実施率を維持している。レセプト点検を国保連合会へ委託、後発医薬品差額通知や医療費通知などを送付し、医療費の適正化を推進している。また、重複・頻回受診、重複・多剤服薬者に対して訪問指導を実施している。（住民医療課）</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・健診受診率を向上させるために、未受診者勧奨を引き続き実施していく。また、受診継続率を高めるために、集団健診にて予約制を導入していく。 医療費の動向を把握し、継続して周知啓発を行う。（住民医療課）</p>		

(2) 低所得者福祉の推進（ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
低所得者福祉の推進	県・町・ 社協	県、町、社会福祉協議会の連携による低所得者対策の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・低所得者からの相談に対して、内容を聞き取り、生活保護、生活困窮、生活福祉資金の貸付等、事業の対象となるか判断をして、関係機関につなげている。相談内容が複雑化しており、判断が難しい場合がある。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・低所得者からの相談に対して、引き続き対応していく。相談内容が複雑で判断が難しい場合は、コミュニティソーシャルワーカーと協力して、対応していく。</p>		

(3) 日本年金機構との連携（住民医療課）

主要事業	実施団体等	事業概要
日本年金機構との連携	日本年金機構・町	日本年金機構との連携強化及び情報交換の推進 広報紙などによる制度のPRの推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
・ 広報等にて制度の周知を実施。年金事務所主催の研修会に参加する等連携を強化している。		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
・ 広報等にて制度のわかりやすい周知を継続で実施していく。可搬型端末を導入し、日本年金機構との年金情報の共有をスムーズにすることで、窓口対応にかかる時間の短縮化を図る。		

(4) 高齢者医療制度の円滑な運用（住民医療課）

主要事業	実施団体等	事業概要
高齢者医療制度の円滑な運用	広域連合・町	広報紙・パンフレットの活用による制度改正のPR 広域連合との連携の強化と情報の早期伝達
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
・ 制度改正時は、広報等によるPRとともに、個別通知にて周知を実施。また、広域連合に情報を早期伝達するために、専用の配送便にて進達を実施している。		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
・ 広報等を用い、わかりやすい周知を継続していく。		

第1節 教育

(1) 学校施設整備事業（学校教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
学校施設整備事業	町・学校	計画的な老朽校舎などの整備 計画的なバリアフリー化に関する整備 中学校の増築
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・老朽校舎の整備について、長寿命化計画（令和6年3月改訂）に基づき、必要な改修工事を行った。バリアフリー化に関する整備については、南部小学校に階段昇降車の借上げを継続して行っている。阿久比中学校の生徒数増加に対応するため、令和4年度に校舎増築工事、令和7年度に職員室拡張工事を行った。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・児童、生徒の安全を第一に考え、必要な改修工事を計画的に実施する。 必要な児童生徒に対し、合理的配慮を行う。</p>		

(2) 国際化・情報化社会への対応（学校教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
国際化・情報化社会への対応	町・学校	ALT(外国語指導助手)・情報教育サポーターの配置 小中学生の海外交流 GIGAスクール構想に対応するICT機器の利活用 情報モラル教育の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・ALTを小学校に2名、中学校に1名配置した。 小学生海外派遣は廃止、中学校は再開時期未定。基金を活用し、小中学校で国際交流事業を実施。GIGAスクール構想では、ドリル教材やタブレット端末を利用した資料作り、プログラミングソフト等ICT機器を利活用した。また、講師を招き、インターネットやスマートフォン、SNSの危険や付き合い方を考える時間を設けた。 幼保小中一貫教育プロジェクトでは、中学校生徒会が「スマホの使い方について考えよう」と「スマホ7か条」を作成し配付した。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		

・幼保小中一貫教育プロジェクトで外国語部会を立ち上げ、小学校 ALT の拡充や中学生の英検受験料の補助等を検討。国際交流事業は、交流内容の充実を図る。

GIGA スクール構想では、第 2 期推進のため、児童・生徒用タブレット端末を更新。タブレット端末の持ち帰りを推進し、学びを止めない教育環境の実現を目指す。

(3) 学びの町おこし事業（学校教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
学びの町おこし事業	町・学校	生活習慣・学習習慣の確立、基礎学力の定着 サタデースクールの拡大、ノーメディアデーの推進
前期（令和 3 年度～令和 7 年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・学びウィークで家庭学習の習慣化を図った。毎月第 1・3 水曜日にテレビ、ゲーム、携帯電話・スマートフォンなどから距離をおくノーメディアデーを実施。</p> <p>過去にはサタデースクールを実施し、学期に 1 回「あぐいくらしの会」による朝ご飯の提供も行った。小学校の土曜学習は、学校支援地域本部事業が各校の実態に即して継続実施。</p>		
前期（令和 3 年度～令和 7 年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和 8 年度～令和 12 年度）の方向性		
<p>・学びウィークやノーメディアデーは、家庭学習の習慣、家庭の教育力向上のために継続。サタデースクールは、地域学校協働活動の中で土曜学習の継続的な実施に向けて環境整備する。子ども食堂等と連携して地域での学習環境の提供についても広く検討する。</p>		

(4) 学校支援地域本部事業（学校教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
学校支援地域本部事業	町・学校・地域	地域の教育力の低下や教員の勤務負担増加に対応するため、地域ぐるみで学校を支援する組織づくり
前期（令和 3 年度～令和 7 年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・地域の方が委員として参加する学校運営協議会を開催し、地域の声を学校運営に反映させている。地域学校協働活動推進員を 1 名配置し、学校、地域住民、保護者が一体となり、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える「地域とともに創る学校」の実現に向けて取り組んでいる。大学生を中心とした学校支援ボランティアも継続的に募集し、各校の学習支援や生活支援、環境整備支援等に参加している。</p>		
前期（令和 3 年度～令和 7 年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和 8 年度～令和 12 年度）の方向性		
<p>・地域学校協働本部・活動は、地区ごとに特徴があり、全ての学校において同じ活動を行うのではなく、地域の実情に合わせた取り組みを各校で進め、より充実した活動に繋げる。学校支援ボランティアは、各学校の地域学校協働活動と融合していく流れを目指す。</p>		

(5) 子どもの安全・安心の確保（学校教育課・防災交通課）

主 要 事 業	実施団体等	事 業 概 要
子どもの安全・安心の確保	町・学校・地域	子ども見守り隊の充実 危機管理マニュアルの整備と充実 自転車での交通事故防止と、マナーの向上 安全・安心パトロールカーの活用 防災教育
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・地域学校協働活動の枠組みで子ども見守り隊の活動を継続的に実施。学校では、南海トラフ巨大地震等も想定した危機管理マニュアルを作成し、毎年度見直し・改訂を行った。防災教育として、各種避難訓練等を年間計画に位置づけている。通学路交通安全対策会議を開催し、学校、警察、道路管理者で通学路の危険箇所について協議を行い、安全対策を施工した。（学校教育課）</p> <p>・各保育園等、小学校の1年、3年、6年生で交通安全教室を実施した。 安全・安心パトロールカー（青パト）の講習会を年2回開催した。 愛知県から地震体験車「なまず号」を借用し、小学校や保育園等で地震のゆれを体験した。（防災交通課）</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A（学校教育課） B（防災交通課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・各種訓練に位置づけられている保護者への引き渡し等について、学校単独ではなく、町と連携して情報収集・把握・共有をする体制の見直しを行う。（学校校育課）</p> <p>・各保育園等、小学校の1年、3年、6年生で交通安全教室を実施する。 安全・安心パトロールカー（青パト）の講習会を年2回開催し自主防犯活動の推進を図る。 愛知県から地震体験車「なまず号」を借用し、小学校や保育園等で地震体験会を実施する。（防災交通課）</p>		

(6) 教職員の資質向上（学校教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
教職員の資質向上	町・学校	日本一面倒見のよい指導者の育成 年齢別研修の充実 教科指導、学校教育に関する情報のデータベース化と教職員への相談活動
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・現職教育に関わるテーマで教職員全体研修を毎年実施し、特別支援教育研修も計画し力量向上に努めた。学校教育指導員や指導主事、社会教育主事が学校を訪問し、少経験者の授業参観や指導・支援を行った。自主の少経験者研修も計画、実施し、力量向上に努めた。</p> <p>小中学校の授業公開日に合わせて他校の教職員が参観できるように呼びかけ、校内体制の整備を図った。また、各教職員が作成した授業の学習指導案について、町の共通サーバに蓄積して、他校の教職員も参照できるようにした。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・今後も増加する可能性がある少経験者に向け、定期的な訪問により指導・支援ができるようにする。幼保小中一貫教育として校種を超えた連携を行い、共通理解を図りながら指導に当たることができるよう進める。</p> <p>学習指導案だけにとどまらず、デジタル教材の共有化等も検討する。</p>		

(7) 豊かな心と健やかな体の育成事業（学校教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
豊かな心と健やかな体の育成事業	町・学校	道徳研修会の実施と授業交流・参観などによる道徳の時間の充実 教育相談センターの充実 スクールカウンセラーの充実 体力向上プログラムの実施 特別支援教育指導員の配置
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・各教科の授業と同様に、特別の教科道徳についても、校内の同学年間の授業参観や、指導課程の共有化を図った。必要に応じて各学校の学校訪問で道徳の授業を公開し、他校の教職員が参観できるように呼びかけた。また、指導案も参照できるようにした。</p> <p>県スクールカウンセラー1名、町スクールカウンセラー2名で小中学校を巡回し、カウンセリングを実施。専任のスクールソーシャルワーカーの任用や中学校教育相談員の増員により体制を強化。指導主事が2人体制となり、特別支援教育指導員と連携して町内の園・小中学校を巡回し、保護者及び教員に、発達の気になる子どもの相談・指導を行った。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		

・初任者研修をはじめ、少経験者に対しても、中堅・ベテラン教員の道徳の授業を参考にできるよう校内研修体制の充実を図る。教科書改訂実施時には、県の副読本による教材も取り入れることができるよう、町予算として調達し、道徳教育の充実につなげる。

児童生徒数見込では減少傾向に入るが、支援が必要な児童生徒について、学校・保護者と連携しながら必要な支援を継続していく。

幼保小中一貫教育の体力向上推進部が中心となり、体力テストの数値向上・改善に向けた取組を実践していく。

(8) 食育の推進 (学校教育課・産業観光課)

主要事業	実施団体等	事業概要
食育の推進	町	総合的な食に関する指導、アレルギー対策、野菜・米などの地元農産物の活用推進 学校給食センターの見学コースを利用した、食の情報発信や食育の啓発
前期 (令和3年度～令和7年度) の進捗状況・残された課題		
<p>・小中学校では食の指導、幼稚園・保育園では給食クイズを実施する等年齢に合わせた食育を行っている。また、アレルギー対応室を使用し除去食を提供中である。学校給食センターでは給食調理の見学や様々な体験で作る人・食べる人を繋げている。地元阿久比町を中心とした食材を給食に活用しているが、使用できる種類や量が減少傾向である。(学校教育課)</p> <p>・農業まつりや産業まつり等のイベント時に食育普及物品の配布の他、地元米の認知促進や活用推進を行った。また、学校給食に地元米を活用し、食育の啓発を行った。ただし、地元野菜の認知促進や活用推進には、さらに力を入れていく必要がある。(産業観光課)</p>		
前期 (令和3年度～令和7年度) の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A (学校教育課) B (産業観光課)
後期 (令和8年度～令和12年度) の方向性		
<p>・継続して実施していく。また、地元食材の生産や加工について、給食用購入物資納入業者を通じて引き続き声掛けをしていく。(学校教育課)</p> <p>・前期事業を継続しつつ、「愛知県食育推進計画」の改定時等「阿久比町食育推進計画」の更新が必要な場合に、町食育推進検討委員会を開催し、意見を反映させるとともに、食育推進の方向性を変更していく。(産業観光課)</p>		

第2節

青少年健全育成

(1) 青少年体験ボランティア活動（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
青少年体験ボランティア活動	町・地域	ボランティアコーディネーターの設置 青少年体験ボランティアセンターの活用及び 社会参加の促進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・活動の場の開拓や情報収集を行い、年間を通して様々なボランティア活動の場を提供した。町内の児童・生徒は、あぐいタイボキッズクラブ、夏休み体験講座等、様々なボランティア活動に参加した。活動場所が固定化していることや活動場所により参加申込に偏りがみられることが課題である。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・継続して活動の場の開拓や情報収集を行い、年間を通して様々なボランティア活動の場の提供を行い、青少年のボランティア意識の高揚を図る。効果的なチラシを作成し、より参加しやすく魅力ある活動の周知を図る。</p>		

(2) 人材の活用（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
人材の活用	町	ボランティア講師登録制度の充実 若者が町事業の企画・立案に参加する機会の拡充
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・ボランティア講師登録制度は、若年層への働きかけとして近隣の大学へ周知を行ったが、高齢化や登録者数の減少が続いている。一方でボランティア講師に教わりたいという声は一定数ある。 若者が町事業の企画・立案に直接参加する機会としては、二十歳の祝典の運営で実行委員に携わってもらったが、以前からの拡充には至っていない。一方で、各種町事業の運営の協力を通じて、地域の一員であるという意識の醸成を図っている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・ボランティア講師登録制度については、若年層への働きかけとして近隣の大学への周知を継続するとともに、幅広い世代への働きかけの手法について検討する。あわせて、若者が町事業の企画・立案に関わる機会のあり方について検討し、より一層の若者の地域での活躍の機会の充実を図る。</p>		

(3) 地域の教育力の向上（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
地域の教育力の向上	町・地域	青少年健全育成地区推進員連絡協議会及び家庭教育推進協議会活動の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・青少年健全育成地区推進員連絡協議会では、年間を通して、各地区で青少年を対象にした行事を実施しており、家庭、学校、地域社会が一体となって取り組む青少年健全育成事業を推進した。</p> <p>家庭教育推進協議会では、年間を通して、小学校区ごとの事業や町全体の事業を実施しており、家庭、学校、地域が連携して、親子、家庭、地域とのふれあい活動を推進した。</p> <p>活動内容や事業運営方法について継続実施しているが、近年の社会状況や家庭状況に応じて、今後の方向性を検討していく。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・青少年健全育成地区推進員連絡協議会及び家庭教育推進協議会活動については、単に継続とはせず、変動する社会状況や家庭状況を十分に考慮するとともに、関係者の負担軽減策を念頭に置き実施する。</p>		

(4) 非行防止活動の充実（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
非行防止活動の充実	町	関係機関・団体と連携した体制づくりの確立 青少年に有害な環境の浄化活動の推進 街頭啓発及びパトロールの実施
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・青少年健全育成地区推進員連絡協議会の全体活動として、青少年健全育成推進大会、地域環境調査、一斉啓発活動（街頭啓発）、夏の非行防止広報活動（パトロール）、環境美化運動を実施し、青少年健全育成事業を推進した。また、青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動（冬期）などのパトロール活動では、青少年健全育成地区推進員をはじめ、少年補導委員等関係機関と連携し、協力体制づくりに努めた。パトロール活動については継続実施しているものの、青少年の外での活動が減少していることもあり声掛けの機会が減少している。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・青少年健全育成地区推進員をはじめ、少年補導員等関係機関と連携して、啓発やパトロールなど各種活動を継続して展開する。パトロール活動については、関係団体と協議しながら時代に即した内容を検討する。</p>		

第3節

生涯学習

(1) 生涯学習プログラムの充実と情報発信（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
生涯学習プログラムの充実と情報発信	町	住民ニーズや社会情勢、行政課題に対応した魅力あるプログラムづくり 生涯学習情報の周知、啓発
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・青少年、親子、シニア、一般それぞれのニーズにあわせた講座を実施している。 若年層や子育て世代向けの講座教室について、公民館を中心に新規講座を開拓する必要があるが、若年層向けの講座教室の定着には至っていない。マイスタディ講座では学習したいことを、マイブロードユース講座では教えたいことを、住民が自ら企画・運営している。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・関係機関との連携を図り、住民の多様なニーズに対応した新規の講座教室を開設するにあたり、受講者等からアンケートを実施したり、近隣市町で好評な講座教室を参考にしたりする等、様々な年代を対象とした学習機会の提供とともに、生涯学習情報の周知、啓発に努め、受講者一人一人の学習が周りへと広がるような機会の創出に努める。</p>		

(2) 人材の育成と活用（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
人材の育成と活用	町	ボランティア講師の活用 団体主催講座の開催 リーダー研修会などの開催
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・青少年体験ボランティア講師登録制度により、申請があれば講師を随時紹介した。ボランティア講師の高齢化や登録者数の減少が課題である。 社会教育団体の資質向上と活性化を図るため、関係団体の活動を支援した。リーダー研修会は、隔年で実施し、町内団体のリーダー育成を推進した。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・ボランティア講師については、引き続き紹介を行い、住民ニーズに応じていくとともに広く住民に周知を図っていく。社会教育団体への活動支援を継続し、団体主催講座開催の支援を図る。リーダー研修会については、ニーズの低下がみられるため、新規開催は行わないが、既存の会議や講座の場を活用した団体間の交流促進、情報共有、相談対応を通じて自主的な生涯学習活動の支援に努める。</p>		

(3) 誰でも参加できる学習環境の整備（社会教育課・保健こども課）

主要事業	実施団体等	事業概要
誰でも参加できる学習環境の整備	町	託児に対応できる体制の整備 障がい者の学びの場の確保と障がいの有無にかかわらず共に学べる体制の整備 ICT機器の活用による学習環境の整備
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・講演会等では障がい者席を用意する等、障がいの有無に関わらず共に学べる体制の整備に努めた。託児ボランティアの協力のもと、子育て中の方が受講しやすい環境づくりに努めたが、託児ボランティアの担い手不足等課題がある。公民館では6年度まで、デジタル・デバイド解消のため、パソコン教室を実施した。（社会教育課）</p> <p>・子育て支援センターにおいて、事業のお手伝いをしてくれる方を募集し、事業を実施する際の託児ボランティアとしての体制を整備している。町が実施するイベントにおいても、依頼に応じて可能な範囲で対応しているが、本事業における実績はない。（保健こども課）</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入	B（社会教育課） C（保健こども課）	
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・託児ボランティアのサポーターが減っているので、関係機関等と連携を取りながらサポーターの人数を増やす取組みを考える必要がある。中央公民館のインターネット環境の整備に努める。（社会教育課）</p> <p>・引き続き、託児ボランティアとしての体制整備に努めるが、ボランティアの高齢化等が進み、担い手の確保が課題である。本事業におけるニーズとしては高くないが、事業担当課と協議のうえ、可能な範囲で対応していく。（保健こども課）</p>		

(4) 魅力ある図書館づくり (社会教育課)

主要事業	実施団体等	事業概要
魅力ある図書館づくり	町	自発的な学習意欲に応えられるような蔵書・資料の充実 講座・教室の開催と展示ホールの活用 図書館ボランティアの育成・支援 各種パンフレット、リーフレットの配布 他館との相互連携による図書資料の確保 インターネットを利用したサービス提供体制の整備
前期 (令和3年度～令和7年度) の進捗状況・残された課題		
<p>・幼保小中一貫教育プロジェクトとの連携による親子読書キャンペーンの実施、「阿久比町子ども読書活動推進計画 (第3次計画)」に基づき子どもの読書環境の整備・充実を図っている。また、利用者の学び場として講座・教室を開催した他、展示ホールにて学校やサークル団体等の作品を発表した。</p> <p>町内の公共施設にて青空図書館を実施する等図書館のPRに努めているが、入館者数および貸出資料数が減少傾向にある。</p>		
前期 (令和3年度～令和7年度) の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期 (令和8年度～令和12年度) の方向性		
<p>・本のネット予約や他館との相互連携による図書資料の貸借ができることなど積極的に周知を行うとともに、引き続き講座・教室の開催と展示ホールの活用を図る。引き続き、「図書館だより」等で新着図書やおすすめの絵本などの情報を発信し、幅広い年齢層に利用してもらえるような魅力ある図書館を目指す。</p>		

第4節

文化芸術

(1) 文化芸術の育成（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
文化芸術の育成	町	団体の活性化 団体の情報提供
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・文化協会と連携し、公民館で自主活動している団体に文化協会への加入促進を働き掛け、文化祭等での発表の場の提供する等活性化を図った。また、中央公民館1階内に、文化協会加入団体のチラシを張り、団体の周知に努めた。文化協会への加入勧奨により新たに加入する団体もあるが、会員の高齢化により解散する団体もあり、加入者数はほぼ横ばいである。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・高齢化による活動団体の解散は、これからも生じると思われるため、公民館で自主活動している団体に文化協会への加入促進を行い、加入団体数及び会員数を減らさないように引き続き文化協会と連携する。</p>		

(2) 文化イベントの充実（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
文化イベントの充実	町	文協まつり・文化祭・コンサートなどの充実 アグピアホールをはじめとした各施設の利活用 様々な社会情勢に対応したイベントの開催
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・文協まつり、ふれあい盆踊り、文化祭芸能大会、みんなの美術展等中央公民館及びアグピアホール等で実施している。令和7年度には、公共ホール音楽活性化事業によりオペラ歌手を招き、4小学校でのアクティビティとアグピアホールでのコンサート公演を行った。文化協会等の加入団体の発表会を充実させる必要がある。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・様々な社会情勢に対応したイベントでのアグピアホールをはじめとした各施設の利活用を促すとともに、著名な文化芸術団体の公演を定期的にも実施することも検討する。</p>		

(3) 伝統文化の継承（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
伝統文化の継承	町	伝統文化の紹介及び助成
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・山車まつり等を伝統文化の紹介として町内外に発信した。文化財保護意識の醸成を引き続き図っていく必要がある。</p> <p>町指定文化財所有者に対し適正な助成（町文化財保存事業費補助金）を行うことで、文化財の保護・継承を図ることができた。また、助成制度については、社会情勢や各地区の状況を鑑み、内容の変更を行った。</p> <p>虫供養付掛軸の劣化が進行している現状について関係地区と共有し、今後の保存のあり方について意見交換を行った。修復についての合意には至っていないものの、掛軸の現状や課題について一定の理解を得ることができた。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・町の伝統文化の紹介及び助成について引き続き実施する。なお、紹介については、より効果的な手法を検討する。助成制度についても、必要に応じて見直しを行い、適正な運用を図る。貴重な虫供養付掛軸が将来に渡って守り続けられるよう、引き続き関係地区との対話を重ね、修復に向けた合意形成が図られるように努める。また、町として修復支援策を検討する。</p>		

(4) 文化財の保存・保護（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
文化財の保存・保護	町	埋蔵文化財包蔵地の周知 埋蔵文化財の分布調査及び発掘調査 歴史民俗資料館の建設を検討
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・埋蔵文化財包蔵地有無の照会について回答を行い、必要に応じて試掘確認調査、整理作業を行い、文化財の保存・保護を図った。調査内容については、専門委員と共有した。</p> <p>令和6年度知多地方文化財保護連絡協議会の研修会において、本町の文化財調査委員会委員による発表が行われ、他市町と文化財保護に向け情報共有を図った。</p> <p>課題となっていた旧北原保育園に保管している「窯跡出土遺物」の移管先については「旧学校給食センター」に確定した。</p> <p>歴史民俗資料館の建設については、具体的な検討には至っていない。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・特に周知の埋蔵文化財包蔵地において、開発事業等が行われる場合は、適切な対応を行い文化財の保存・保護を図る。</p>		

第5節

スポーツ

(1) スポーツ教室の充実（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
スポーツ教室の充実	町	ジュニア・シニアスポーツ教室の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・小学生を対象に6種目のスポーツ教室を実施し、一般を対象にミニテニス教室を実施した。令和5年度からはジェイプロジェクト硬式野球部やFC刈谷、デンソーフリースセローズといったアスリートによるスポーツ教室を実施した。</p> <p>令和7年度からはモルック体験デーを開催するなどニュースポーツの普及にも努めている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、スポーツ教室を実施し、スポーツ振興に努めるとともに、アスリートによるスポーツ教室を実施することで、一流の技術を学ぶ機会を作る。スポーツ推進委員と連携し、ニュースポーツの普及を進めていく。</p>		

(2) 健康・スポーツ関係団体及び指導者の育成（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
健康・スポーツ関係団体及び指導者の育成	町	団体の育成・支援
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・スポーツ協会を通じ、各競技団体及び総合型地域スポーツクラブ「アクティブあぐい」の活動を支援した。スポーツフェスティバルとして、スポーツ協会に委託し、各種大会を開催した。</p> <p>団体によっては、各競技を取りまとめる団体役員の担い手が不足している。</p> <p>令和8年9月末で休日の中学校部活動を取りやめ、「あぐい地域クラブ」を設立し、地域へ展開移行する。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・スポーツ協会を通じ各団体の活動を支援する。また、スポーツ推進委員等と連携し、地域スポーツの振興を促進する。</p> <p>休日の中学校部活動地域展開に向け、支援体制及び指導者の育成体制等を整備する。</p>		

(3) 学校施設と既存施設の整備（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
学校施設と既存施設の整備	町	利用しやすい施設の整備
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・町内4小学校の体育館及び運動広場、中学校の体育館を学校教育に支障のない範囲で一般開放した。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学校施設の開放を行うとともに、空調設置等の環境改善、使用方法の見直し等を行い、利用しやすい施設の整備に努める。 		

(4) スポーツ村の活用と周辺の整備（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
スポーツ村の活用と周辺整備	町	ウォーキングコースの整備 スポーツ医・科学研究所の再利用
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・交流センターの多目的体育室、室内プール等を整備し、一般の利用だけでなく、公共施設の統廃合の観点から小学校のプール授業を実施した。ウォーキングコースの整備には至っていないものの、交流センターから陸上競技場、クラブハウスまでの歩道の整備、野球場及び交流センターのトイレ改修を行い、より安全に利用しやすい施設となるよう周辺環境を整備した。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・阿久比スポーツ村整備基本構想を策定し、スポーツ村を町の交流の拠点となるよう整備を進めていくとともに、スポーツ村周辺も含めた利活用の手法を検討していく。 		

(5) レクリエーション活動の促進（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
レクリエーション活動の促進	町	ふれあいの森施設・設備の充実
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・体育室やバーベキュー場、パターゴルフの一般開放を実施するとともに、町民の健康増進と憩いの場の提供を目的として、4月から9月までふれあいの森早朝開放を実施した。各施設ともに老朽化しているため、改修が必要となる。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・一般開放をすすめるとともに、令和8年3月に策定した個別施設計画に基づき、老朽化した設備の改修を進め、利用者の安全性と利便性の向上を図る。</p>		

(6) 体育館・プールの建設（社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
体育館・プールの建設	町	体育館・プールの建設
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・体育館建設を考える町民会議において、体育館建設に係る要望が多かった意見を、スポーツ医科学研究所を取得することにより反映させることができた。購入した施設は、「スポーツ村交流センター（アグスポ）」として整備し、多目的体育室及び室内プールを一般開放した。交流センターは、建築30年以上が経過し、老朽化が目立つ。また、室内プールの稼働には多額の経費を要するため利用者を増やし収益確保に努める必要がある。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・早急に体育館を建設することは困難な現状であるため、当面は交流センター内の施設整備、教室の開催等に努め、多目的体育室、室内プールの利用者の増加を図る。</p>		

第1節

農業

(1) 農業生産基盤の充実（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
農業生産基盤の充実	県・町・ 土地改良区	農業用施設の整備 農地の集積集約化の推進 耕作放棄地対策事業の推進 宮津、阿久比・矢高地区の農業生産基盤整備の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・農業用施設は、随時、個別案件による用途変更を行った。また、町独自の耕作放棄地対策事業の実施はないが、農地を借りたい耕作者への斡旋を行うことで、段階的に耕作放棄地の解消、農地の集積集約化を行った。</p> <p>宮津土地改良事業は、一時休止が決定した。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・農業用施設は、随時、個別案件による用途変更を継続して行っていく他、前期に策定した地域計画（地域農業経営基盤強化促進計画）を基に、農地の集積集約化や耕作放棄地対策を推進していく。</p>		

(2) 農業の担い手育成・確保（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
農業の担い手育成・確保	町・農協	青年農業者との交流の促進 新規農業者の研修会・交流会の開催
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・新規就農者に対し、地域の農業研究団体等を紹介する他、農業委員会と農業者との意見交換会を開催する等の交流の促進を行った。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・新規就農者に対し、地域の農業研究団体等を紹介するほか、農業委員会と農業者との意見交換会を開催する等の交流の促進を行い、農業の担い手の育成を地域で行う取組を継続する。</p>		

(3) 生産性の向上促進とブランド化（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
生産性の向上促進とブランド化	町・農協	農産物のブランド化の促進 農業関係資金の活用促進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 農産物のブランド化に関し、「6次産業化推進戦略」を策定し、新たなブランド商品の開発を促進した。また、農業関係資金については、農業経営基盤強化資金に係る利子補給を継続実施した。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 新たなブランド商品の開発や6次産業化施設の新設のため、「6次産業化推進戦略」の更新等を随時行っていく他、農業経営基盤強化資金に係る利子補給を継続実施していく。 		

(4) 環境にやさしい農業の推進（産業観光課・環境課）

主要事業	実施団体等	事業概要
環境にやさしい農業の推進	町	減農薬・減化学肥料栽培の推進 土壌汚染防止の監視強化 畜産農場の臭気測定
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 化学肥料、化学合成農薬を県の慣行レベルから原則5割以上低減する取り組みと合わせ、カバークロープの作付け等を実施している農業者グループに対し、助成を行った。（産業観光課） 土壌汚染防止条例に基づき、盛土等の事業を行っている現場を確認する等の監視を行った。月に一回程度の頻度で、順番に畜産農場の臭気測定を行った。（環境課） 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A（産業観光課） B（環境課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 国から示される制度内容の変更に対応しつつ、前期に引き続き助成制度を継続することで、環境保全を推進すると同時に、それに取り組む農業者を支援する。（産業観光課） 引き続き、土壌汚染防止条例に基づく監視、畜産農場の臭気測定を行う。（環境課） 		

(5) 地産地消の推進（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
地産地消の推進	町・農協	各種イベントによる啓発活動 直売所の拡充強化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・農業まつりや産業まつりといった地産地消に係るイベントを開催した他、直売所等の拡充のため、「6次産業化推進戦略」を策定し、6次産業にかかる総合化事業計画の認定を後押した。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・前期に引き続き、農業まつりや産業まつりといった地産地消に係るイベントを開催する他、直売所や農家レストランといった6次産業化施設の新設のため、「6次産業化推進戦略」の更新等を随時行っていく。</p>		

(6) 観光農業の推進（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
観光農業の推進	町・農協・ 観光協会	観光農園、家庭菜園の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・家庭菜園の整備を求める町民からの要望に応えるため、平成27年度より元気な家族農園を整備し、農園の適正管理を行うとともに、農園利用者の継続募集、栽培講習会の開催等を実施している。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・継続して農園を利用してもらえるよう引き続き適切な管理を行うとともに、栽培講習会等を開催することで農業に関する知識を教え、楽しく農業に親しんでもらう場の提供を続ける。</p>		

(7) 農村景観の保全（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
農村景観の保全	町	景観整備と連携した農地の保全 農業用施設の維持管理
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・地域が共同して地域資源（農地、水路、農道等を始めとした農業用施設）の保全や改修等といった活動を支援する「多面的機能支払交付金事業」について、9つの地域が取り組みを行った。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・「多面的機能支払交付金事業」について、取り組む地域を増やしていくための呼びかけや説明を継続して実施していく。</p>		

(8) 農業経営の推進（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
農業経営の推進	町・農協	農業者の経営安定化の推進 農地所有適格法人へ農地情報の提供
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・国、県の補助制度を活用し、新規就農・大規模拡大農家、水稲・畑作・畜産の別によらず農業者の経営安定化の推進を行った。また、農地所有適格法人に対する農地情報の提供については、随時行っている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・前期に引き続き、国、県等の各種補助制度の他、町独自の制度を活用し、農業者の経営安定化を推進する。また、農地所有適格法人に対する農地情報の提供について、随時行っていく。</p>		

第2節

商業

(1) 商業者の活力の向上（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
商業者の活力の向上	町・商工会	大型店との共存 小売業者の育成・経営強化 特産品の開発 創業支援
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援等事業計画、先端設備等導入促進基本計画、商工会と連携した経営発達支援計画、事業継続力強化支援計画により、事業者の育成・経営強化を図っている。特産品の開発については、集客力・販売力の高い商品が少ない。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・不安定な社会情勢に対応できるよう、商工会と連携し、必要な事業者支援を行っていく。 令和8年度から「創業チャレンジ支援補助金」を開始し、新たな取り組みにチャレンジする事業者に対し、必要な初期費用の一部を補助していく。 町と商工会と観光協会が一体となって、特産品の創出等によるまちの活性化を図っていく。 		

(2) 幹線道路沿い商業の発展（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
幹線道路沿い商業の発展	町・商工会	商業店舗の誘導
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・創業者への相談対応や開業支援を行っているが、幹線道路沿いの商業店舗の誘導は積極的にできていない。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路沿いの商業店舗の誘導について、商工会と協議し、賑わいを生み出す方策を検討する。 		

(3) 観光振興の整備（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
観光振興の整備	町・商工会・観光協会・民間	商業者、観光協会との連携 広域的な連携と観光資源の発掘 民間活力の導入による広域的な対流・交流拠点の促進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・観光協会、商工会、関係団体と連携し、観光資源の磨き上げと発掘を行っている。知多半島観光圏協議会や近隣市町との連携により、広域的な観光振興を行っている。より特色や集客力のある観光資源を開発していく必要がある。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・観光協会、商工会、関係団体と連携し、引き続き観光資源の磨き上げと発掘を行っていく。また、民間とも連携を図り、観光資源の開発や集客力を高めていきたい。</p>		

第3節

工業

(1) 工業用地の確保（まちづくり推進課・産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
工業用地の確保	町	工業用地の確保・企業誘致
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・都市計画マスタープランへ産業系の市街地を拡大するための候補エリアの位置付けに着手するとともに、町への進出に関する企業意向調査、候補地に対して概略設計、事業手法等の検討を行った。（まちづくり推進課）</p> <p>・新たな工業用地の確保のため、用地の適地調査を行った。今後、用地造成に合わせて、進出企業に対する補助金等の優遇制度による支援を検討していく必要がある。（産業観光課）</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C（まちづくり推進課） C（産業観光課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、候補地に対して概略検討、事業手法等の検討を行い、事業化に向けて取り組んでいく。（まちづくり推進課）</p> <p>・企業用地の造成に合わせ、進出企業に対し補助金等の優遇制度による支援を検討する。地域経済の活性化や雇用創出を図るため、商工会など関係機関と連携した新たな創業支援制度を整備する。（産業観光課）</p>		

(2) 企業立地促進施策の推進（まちづくり推進課・産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
企業立地促進施策の推進	町	企業立地や促進施策の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・都市計画マスタープランへ産業系の市街地を拡大するための候補エリアの位置付けに着手するとともに、町への進出に関する企業意向調査、候補地に対して概略設計、事業手法等の検討を行い、企業立地のための用地確保を進めている。（まちづくり推進課）</p> <p>・新たな工業用地の確保のため、用地の適地調査を行っている段階である。企業立地促進施策については、他市町の状況なども調査・研究し、検討を進める。（産業観光課）</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C（まちづくり推進課） C（産業観光課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		

- ・引き続き、候補地に対して概略検討、事業手法等の検討を行い、事業化に向けて取り組んでいく。(まちづくり推進課)
- ・企業用地の造成に合わせ、進出企業に対し補助金等の優遇制度による支援を検討する。地域経済の活性化や雇用創出を図るため、商工会など関係機関と連携した新たな創業支援制度を整備する。(産業観光課)

(3) 中小企業の経営強化 (産業観光課)

主要事業	実施団体等	事業概要
中小企業の経営強化	町・商工会	商工業振興事業の充実
前期 (令和3年度～令和7年度) の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援等事業計画、先端設備等導入促進基本計画、商工会と連携した経営発達支援計画、事業継続力強化支援計画により、中小企業の経営強化を図っている。時代の変化、不安定な社会情勢に対応できるよう、DXを活用した生産性向上や経営課題解決を図っていくことが求められる。 		
前期 (令和3年度～令和7年度) の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期 (令和8年度～令和12年度) の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援、先端設備等導入促進、資金調達に関する補助を継続していく。また、商工会と連携した経営発達支援計画、事業継続力強化支援計画に合わせ、商工会と連携して必要な支援を行っていく。 		

(4) 農商工連携事業の推進 (産業観光課)

主要事業	実施団体等	事業概要
農商工連携事業の推進	町・商工会	特産品の開発
前期 (令和3年度～令和7年度) の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を見直し、地域の魅力を考える農商工連携講演会を開催している。課題として、集客力・販売力の高い特産品が少ない。 		
前期 (令和3年度～令和7年度) の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期 (令和8年度～令和12年度) の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・農業者、商工業者、商工会、観光協会、関係団体で連携し、集客力・販売力の高い特産品を開発していく。 		

第4節

就労対策・勤労者福祉

(1) 雇用機会の確保（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
雇用機会の確保	県・町・商 工会	ハローワークなど関係機関との連携
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・ちた地域若者サポートステーションによる若者の就職に向けた出張無料相談を毎月役場で実施している。ママ・ジョブ・あいちによる出産・育児等で離職し再就職を考えている女性に対する出張相談を実施している。ハローワークと共に障害者雇用未達成企業を訪問し、要請を行っている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・ハローワーク等関係機関と連携し、相談の場の確保や情報提供を行い、雇用機会の確保を図っていく。</p>		

(2) 勤労者福祉の充実（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
勤労者福祉の充実	町	勤労者福祉の充実 勤労者住宅資金融資制度の啓発 知多地区勤労者福祉サービスセンターへの支援・加入促進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・知多地区勤労者福祉サービスセンターを知多半島5市5町の広域で運営し、勤労者福祉の充実を図っている。金融機関と連携し、勤労者住宅資金融資制度の周知を行っている。知多地区勤労者福祉サービスセンターの加入者数増加のための周知、促進が課題。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・知多地区勤労者福祉サービスセンターを知多半島5市5町の広域で運営し、勤労者福祉の充実を図る。商工会とも連携し、加入者数増加のための周知、促進を図っていく。</p>		

(3) 勤労福祉センターの維持管理（産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
勤労福祉センターの維持管理	町	勤労福祉センターの設備更新
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・屋上防水改修、外部トラス屋根改修、飛散防止フィルム設置、照明LED化等を行い、老朽化等に対応するための改修をした。築年数経過による老朽化が進んでおり、大規模な改修が必要になってきている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入	B	
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・施設利用者が快適に過ごせるよう、築年数経過により老朽化している設備を利用実態に合わせて更新していく。</p>		

第1節

パートナーシップのまちづくり

(1) パートナーシップの仕組みづくり（企画広報課）

主要事業	実施団体等	事業概要
パートナーシップの仕組みづくり	町・地域・ 企業・学 校・住民等	まちづくり活動支援制度の実施・推進 新たな支援制度の創設
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・住民税1%町民予算枠制度を運用してきたが、応募団体数の減少や実施事業のマンネリ化、書類作成の負担等の課題を整理し、新制度スタートに向けて検討を行った。令和7年度より、新たなまちづくり活動支援制度（アグチャレ）を創設し、運用を開始した。継続的なまちづくり活動に向けた支援や新規団体の掘り起こしが課題。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・新たなまちづくり活動支援制度（アグチャレ）をさらに周知・PRし、住民や地域、団体がそれぞれの役割分担による地域課題の解決・パートナーシップのまちづくりを推進する。住民等のまちづくり活動への積極的な参加や新規団体が増えるよう引き続き支援を行う。 		

(2) 住民参画の推進（企画広報課）

主要事業	実施団体等	事業概要
住民参画の推進	町・住民	審議会・委員会委員の公募制度の充実 パブリックコメントの実施
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・広報や町ホームページにおいて各種委員の公募を行っているが、件数は限りなく少ない。また、パブリックコメントについても、意見の提出は1案件につき数点ほどである。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・行政に対して興味・関心のある人材の掘り起こしや育成と同時に、その方に届きやすい情報発信の新たな方法等を検討する。 		

(3) 情報の共有化（企画広報課・総務課）

主要事業	実施団体等	事業概要
情報の共有化	町・地域・ 企業・学 校・住民等	広報紙・LED 電光掲示板による情報発信 ホームページ・SNS・アプリによる情報共有 情報のオープンデータ化の実施・推進 まちづくり懇談会の実施
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・令和6年2月に町ホームページをリニューアル、令和7年1月に町公式インスタグラムを設立、令和8年1月から広報紙を月1回の発行とし、伝わる広報としてリニューアルを図った。まちづくり懇談会は4小学区毎に1会場とし、フリーテーマで町民の意見を聴取し、町長はじめ町幹部との懇談を行っている。（企画広報課）</p> <p>・国及び県が示す指針に基づき、住民や民間企業等が利用しやすいデータ形式により、オープンデータを町ホームページにて公開している。（総務課）</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B（企画広報課） B（総務課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・情報発信において、町が発信するだけでは町民が情報を得られるわけではないため、各種情報発信媒体において、ターゲットを設定し効果的に情報が伝わる情報発信を行う。 まちづくり懇談会は、開催時間帯や子育て世代に対する広聴を拡大するための方策を検討していく。（企画広報課）</p> <p>・新たな価値の創出に寄与するため、公開するオープンデータのさらなる拡充に努める。（総務課）</p>		

(4) 多様な人材育成（社会教育課・ふくし課・企画広報課）

主要事業	実施団体等	事業概要
多様な人材育成	町・地域・住民等	地域リーダーの育成 ボランティア組織の育成
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー研修会を隔年で実施し、町内団体のリーダー育成を推進した。 ・青少年健全育成地区推進員をはじめとする地域活動に取り組む団体間の交流や情報共有の機会づくりを行った。（社会教育課） ・ボランティアコーディネーターをボランティアセンターに配置した。ボランティアセンターにより、ボランティア団体の活動支援を実施した。ボランティア団体員の高齢化により、団体活動が維持できなくなり、団体数・団員が減少傾向である。（ふくし課） ・隔年で様々なテーマによるまちづくりワークショップを開催。まちの活性化や課題解決に向けたまちづくりの担い手育成等を行った。関係課や社会福祉協議会との連携による効果的な事業の実施が課題である。（企画広報課） 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B（社会教育課） B（ふくし課） B（企画広報課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・地域リーダーの育成については、既存の場を活用した団体間の交流や情報共有の促進を図る。（社会教育課） ・ボランティアセンターの活動により、ボランティア団体の活動支援を実施する。ボランティア団体同士の交流のため交流会を実施し、団体の活性化を図る。（ふくし課） ・関係課（ふくし課・社会教育課）や社会福祉協議会と連携しながら、まちづくりに関わる多様な人材や担い手の育成に向け、効果的な事業を検討する。（企画広報課） 		

(5) 情報公開の推進（総務課）

主要事業	実施団体等	事業概要
情報公開の推進	町	情報公開と個人情報保護の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・住民の知る権利および個人情報の保護のため、法令に基づき事務を行っている。 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、情報公開に努めるとともに、個人情報の保護に十分配慮していく。 		

第2節

コミュニティ活動

(1) コミュニティ活動の活性化支援（総務課・企画広報課）

主要事業	実施団体等	事業概要
コミュニティ活動の活性化支援	町・大字・自治会・コミュニティ	大字・自治会活動の支援・補助 コミュニティ推進協議会の支援・補助
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・町政の円滑な運営と住民福祉の増進を図るため、大字・自治会の長を行政協力員に委嘱した。行政協力員と年5回会議を行い、地区との情報共有を行うとともに、大字・自治会に対して、行政協力費補助金による運営経費等の補助を行いコミュニティ活動の推進を図った。（総務課） ・東部コミュニティ推進協議会及び南部コミュニティ推進協議会への支援・補助を行い、地域住民が主体となる、自主的で地域の特性を活かしたコミュニティ活動を推進した。（企画広報課） 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A（総務課） A（企画広報課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・大字・自治会活動の支援を継続的に行う。行政協力員について、なり手の現役世代化が進んでおり、日中の活動が負担となっていることから電子化等により活動の負担軽減を図る。（総務課） ・東部コミュニティ推進協議会・南部コミュニティ推進協議会は継続して支援を行う。他地区においてコミュニティ設立の機運が醸成されれば、必要に応じて準備委員会を立ち上げる等支援を行っていく。（企画広報課） 		

(2) コミュニティ意識の高揚（総務課・企画広報課）

主要事業	実施団体等	事業概要
コミュニティ意識の高揚	町・大字・ 自治会・コ ミュニティ	広報等によるコミュニティ活動のPR
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・文書送達制度により広報等を効率的に配布し、コミュニティと情報共有を図った。（総務課） ・東部コミュニティ推進協議会・南部コミュニティ推進協議会が実施する行事等について、学区へチラシの全戸配布を行い、コミュニティ活動の周知・PRを行った。（企画広報課） 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A（総務課） A（企画広報課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・時代に合わせた広報等の配布方法を調査・検討していく。（総務課） ・引き続き、各コミュニティ推進協議会が実施する行事等の周知・PRについて支援する。（企画広報課） 		

(3) コミュニティ施設の管理・運営支援（総務課・企画広報課）

主要事業	実施団体等	事業概要
コミュニティ施設の管理・運営支援	町・大字・ 自治会・コ ミュニティ	大字・自治会集会所等の運営費補助 大規模改修の補助 コミュニティ活動備品に対する補助
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・大字・自治会に対して、行政協力費補助金による運営経費等の補助を行いコミュニティ活動の推進を図り、大字・自治会活動を補助した。大字・自治会が所有する集会施設等の大規模な改修について、費用の一部を補助することで集会施設の維持を図り、大字・自治会活動を補助した。（総務課） ・地域住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図るため、一般財団法人自治総合センターが実施している、コミュニティ助成事業に応募し、地区のコミュニティ活動に必要な備品等の購入費用の補助を行った。なお、希望する地区の採択要望に関し、不公平感を無くすため、抽選を導入し、優先順位の方法を変更した。（企画広報課） 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A（総務課） A（企画広報課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度より大字・自治会が所有する集会施設等の大規模改修の補助について、物価上昇に合わせて限度額を改正した。また、脱炭素社会の実現を目標とし、地区所有施設の照明LED化を推進するために補助を開始する。（総務課） ・引き続き、コミュニティ助成事業制度を活用し、コミュニティ活動に必要な備品整備の補助を行う。（企画広報課） 		

第3節

男女共同参画・多文化共生

(1) 男女平等意識の高揚（企画広報課・社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
男女平等意識の高揚	町	男女共同参画講演会の開催 人権教育研修会の参加促進 性的少数者（LGBT など）への理解促進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・あぐい女性の会との共催により男女共同参画講演会を開催し、男女平等意識の高揚を図った。各種啓発資料の町内公共施設への配架及びパネル展示等で意識啓発を図った。ファミリーシップ・パートナーシップ宣誓制度について検討を行った。（企画広報課） ・人権教育研修会については、小中学校教諭、PTA等関係者への周知を行い、参加促進を図った。（社会教育課） 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B（企画広報課） B（社会教育課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画講演会の開催や各種意識啓発を行う。全庁的な取組として推進を図る。愛知県ファミリーシップ宣誓制度利用者に対して、町で活用可能な行政サービスの提供を検討する。（企画広報課） ・引き続き、全庁的な取組として推進を図る。（社会教育課） 		

(2) 男女共同参画社会の形成（企画広報課・社会教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
男女共同参画社会の形成	町	男女共同参画プランの推進 女性リーダーの育成 女性団体の育成
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・第2次男女共同参画プランに基づき、各種施策を推進した。令和4年度にはプラン実施状況の中間評価を行い、ホームページで公表した。（企画広報課） ・女性リーダーの育成については、県主催の各種セミナーの情報提供を行い、参加促進を図った。女性団体の育成については、「あぐい女性の会」の活動に対し支援を行った。（社会教育課） 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B（企画広報課） B（社会教育課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・プランに基づき、引き続き関係部署と連携し施策を推進する。また、令和9年度からスタートする第3次阿久比町男女共同参画プランの策定に向け、検討を進める。（企画広報課） ・女性リーダーの育成及び女性団体の育成については、今後も情報提供や活動支援を行う。（社会教育課） 		

(3) 就労環境の整備（児童保育課・ふくし課）

主要事業	実施団体等	事業概要
就労環境の整備	町・社会福祉法人・NPO 法人	一時保育・延長保育・学童保育などの実施 介護支援施策の整備
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 児童数は減少傾向にあるが、保護者の就労割合は高いため、継続して一時預かり等の保育を実施している。学童保育においては、支援の単位を増減し対応した。（児童保育課） 介護支援施策の整備として、介護職員向けの研修を実施している。参加者が少ないのが課題（ふくし課） 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A（児童保育課） B（ふくし課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 多様な保育需要に応じて、より利用しやすいサービス提供の仕組みづくりや適切な遊びや生活の場を提供し、引き続き児童の健全な育成を図っていく。（児童保育課） どのような研修にニーズがあるのか確認しながら、参加者の拡大に努めていく。（ふくし課） 		

(4) 多文化共生の推進（学校教育課・企画広報課）

主要事業	実施団体等	事業概要
多文化共生の推進	町・学校・地域等	国際理解教育の推進 外国人が暮らしやすい環境整備
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> 国際交流事業として、令和5年度はミャンマーの子どもたちを、令和6年度以降は包括連携協定に基づき日本福祉大学の学生を町立小中学校に招いて異文化交流を実施している。また、中学生海外派遣事業の代替事業として、JICA講師による国際理解講演会を実施している。（学校教育課） ホームページや防災マップの多言語化等を図っており、必要に応じた環境整備を行っている。（企画広報課） 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B（企画広報課） B（学校教育課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> 国際交流事業については、持続可能な方法で交流内容の更なる充実を図る。国際理解講演会についても継続して実施する。（学校教育課） 外国人が暮らしやすい環境整備について、ニーズを見極めながら推進を図る。（企画広報課） 		

第4節

交流

(1) 国際交流の推進（学校教育課）

主要事業	実施団体等	事業概要
国際交流の推進	町・学校	小中学生海外交流
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・小中学生海外派遣については、コロナ禍以降実施を見合わせ、代替事業を実施していたが、小学校は廃止した。中学校は再開を検討しているが、費用が高額なこと、教員の負担等から再開時期は未定。</p> <p>小中学生国際交流事業として、令和5年度はミャンマーの子供たちを、令和6年度以降は包括連携協定に基づき日本福祉大学の学生を町立小中学校に招いて交流している。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
・持続可能な方法で、国際交流事業の交流内容の更なる充実を図る。		

(2) 地域間交流の推進（環境課・企画広報課）

主要事業	実施団体等	事業概要
地域間交流の推進	町・地域・住民	ほたるサミットなどによる交流の促進 シティプロモーションの推進 姉妹都市提携の検討
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・ほたるサミットは、新型コロナウイルス感染症による中止等を経て、令和5年度から全国ほたるのまち交流会と形を変え交流を続けている。（環境課）</p> <p>・プレイガーデンプロジェクトの一環として、あぐい結びの市・よりみち、モルック体験等を実施した。また、町内外に向けて本町の魅力を伝えるツールとして町の魅力発信ブックを作成しPRに努めた。なお、具体的な姉妹都市提携の検討は行われていない。（企画広報課）</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B（環境課） B（企画広報課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、全国ほたるのまち交流会に参加する等、地域間交流を推進する。（環境課）</p> <p>・定住促進をはじめ、U I J ターン等の移住促進を図るため、シティプロモーションを推進し、町内外に積極的に情報を発信する。あわせて、まちの魅力向上のためのコンセプト・ブランディングについて検討を進める。町の活性化、関係人口・交流人口の拡大に資するため、歴史、スポーツ、産業等をテーマにした地域間交流を推進し、必要に応じて姉妹都市提携の検討を行う。（企画広報課）</p>		

(3) 広域連携の推進（企画広報課・産業観光課）

主要事業	実施団体等	事業概要
広域連携の推進	町・協議会等	広域連携による新たな行政課題の調査研究 知多半島観光圏協議会による交流人口の創出 中部国際空港や近隣市町村と連携した活動の推進
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・知多市町会や中部国際空港を核とした知多地域振興協議会において、知多半島5市5町と圏域の課題等の意見交換を行っている。名古屋市近隣市町が参画している名古屋市近隣市町村長懇談会にて行政課題の解決に向けた研修会に参加している。（企画広報課）</p> <p>・知多半島観光圏協議会で阿久比町を含めた知多半島全域の観光PR、イベント開催を行っている。中部国際空港も含めた展示会場や、東京・大阪など他県でのイベントにも知多半島観光圏協議会として出展し、観光PRを行っている。知多半島全体としての集客率向上と各市町の魅力度向上が課題（産業観光課）</p>		
<p>前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入</p>		<p>B（企画広報課） B（産業観光課）</p>
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・引き続き、知多市町会をはじめ、中部国際空港、名古屋市近隣市町等、広域連携の推進により、行政課題の調査研究・課題解決に努める。（企画広報課）</p> <p>・知多半島観光圏協議会で阿久比町を含めた知多半島全域として県内外を含めた様々な場所での観光PRを実施していく。知多半島全体の魅力向上のための方策を協議・検討し、交流人口の増加を図っていく。（産業観光課）</p>		

第5節

行政経営

(1) 効率的な行政運営（企画広報課・総務課）

主要事業	実施団体等	事業概要
効率的な行政運営	町	機構改革、行政評価、指定管理者制度、民間活力の導入 技術革新による業務の効率化
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<ul style="list-style-type: none"> ・毎年度、行政評価を実施した。なお、令和6年度は機構改革（令和7年4月1日）及び機構改革にあわせた、事務事業の見直し・業務改善を実施した。評価結果をホームページ等で公表した。（企画広報課） ・定型的な操作を自動化するRPAなどのシステムを導入し、業務の効率化を図ってきた。一方で、生成AI等のさらなる業務効率化が期待できる技術を導入する余地がある。（総務課） 		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B（企画広報課） B（総務課）
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、施策・事業の目標達成のために行政評価・事務改善を行い、PDCAサイクルにより実施計画、予算編成へ反映させる。また、住民に開かれた、分かりやすく・効率的な行政運営を図る。 行政評価の実施自体に職員の事務負担があることから、負担軽減について引き続き検討する。（企画広報課） ・生成AIについての調査研究を行い、業務への活用を推進する。（総務課） 		

(2) 健全な財政運営（検査財政課）

主要事業	実施団体等	事業概要
健全な財政運営	町	企業誘致による税収の確保 町民に分かりやすい財務情報の公表 地方公会計の推進、財政運営の効率化・適正化 経常経費削減の徹底 入札の公平性・競争性及び品質の確保 自主財源の確保
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・予算・決算・財務諸表はホームページ等にて公表を行っている。財政運営については、職員への財政状況の共有、部長ヒアリングを実施し、経費削減、歳入確保に努めているが、抜本的な既存事業の見直しをするに至っていない。自主財源の確保については、令和6年度の検討会において循環バス・広報等への広告掲載を実施する方針とした。また、ネーミングライツの実施についても検討を進めている。</p> <p>公共工事等の入札、契約については、公平性、競争性及び品質の確保に努めている。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・公共施設の老朽化に伴う改修費用や扶助費など今後経費が増加していく状況で、新規事業の取捨選択だけでなく、既存事業の見直しも継続して実施する。また、今後も継続して各種補助制度・地方債の情報収集を進め、自主財源の確保に努める。公共工事等の入札、契約については、国や県、近隣市町の動向、法改正等を注視し、今後も適切に執行する。</p>		

(3) 職員の資質向上（総務課）

主要事業	実施団体等	事業概要
職員の資質向上	町	自治大学校・市町村アカデミーへの派遣 各種研修の活用による職員の資質向上 人事評価制度の活用
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・前期の主な派遣研修実績 自治大学校 3人 市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） 16人 全国市町村国際文化研修所 10人 派遣研修のほか、庁内で職員研修を開催し、専門知識の習得や資質向上に努めている。 平成25年度から人事評価制度を導入し、手当の支給等に活用している。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		B
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・自治体を取り巻く環境の変化に対応した、職務に活かすことのできる研修に職員を派遣するとともに、庁内においても計画的に効果的な職員研修を開催し、さらなる職員の資質向上に努める。職場環境の変化に合わせて人事評価制度を見直し、活用の幅を広げていく。</p>		

(4) 広域行政の推進（防災交通課・環境課・上下水道課・企画広報課）

主要事業	実施団体等	事業概要
広域行政の推進	町	消防・救急・斎場、し尿・ごみ処理、下水処理など効果的・効率的な行政運営の実施
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>知多中部広域事務組合（消防・救急に関する事務・斎場に関する事務）及び東部知多衛生組合（ごみ・し尿処理に関する事務）の一部事務組合、衣浦西部浄化センター（下水道の共同処理に関する事務）の共同処理等、広域行政の推進で効果的・効率的な行政運営を実施している。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		A
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>引き続き、一部事務組合による事務・共同処理等を行うことで、「より広域的観点に立った施策の展開」「効果的な施設等の整備と行政サービスの提供」「行政運営の効率化による財政基盤の強化」等、広域行政によるメリットを十分に生かし、効果的・効率的な行政運営を図る。</p>		

(5) 公共施設等の有効活用（検査財政課）

主要事業	実施団体等	事業概要
公共施設等の有効活用	町	公共施設の最適化 未利用町有地の有効利用
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況・残された課題		
<p>・公共施設の最適化については、施設の利用状況を勘案し、今ある公共施設の集約化や統廃合等の検討を図ることが必要である。</p> <p>未利用町有地の有効利用については、庁内の施設関連部署や、まちづくり、観光等の部署で構成されたワーキンググループを作り、検討を進めている。旧学校給食センターについては、倉庫として活用できるよう用途変更を行なった。</p>		
前期（令和3年度～令和7年度）の進捗状況 A～Dのうちひとつを右欄に記入		C
後期（令和8年度～令和12年度）の方向性		
<p>・未利用町有地の有効利用については、引き続きワーキンググループで検討を進めるとともに、各施設についても個別に研究を進め、維持管理費を削減する手法や売却についても検討を進める。</p>		

Ⅲ. 住民アンケート調査の概要について

第6次阿久比町総合計画の中間年にあたり、住民の意識構造の実態把握を目的にアンケート調査を実施した。その中から、まちへの定住意向、まちの現状と今後（満足度や重要度）について、今後のまちづくりの特色での経年的な変化を整理するとともに、総合計画の施策体系にあわせて設定した評価の結果を掲載している。



I 調査概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は計画策定に向けて、住みよいまちづくりへの基礎資料を得ることや町政に対するご意見等をお聞かせ頂くことで、住民の皆様の声を反映するため実施した。

(2) 調査対象及び調査方法

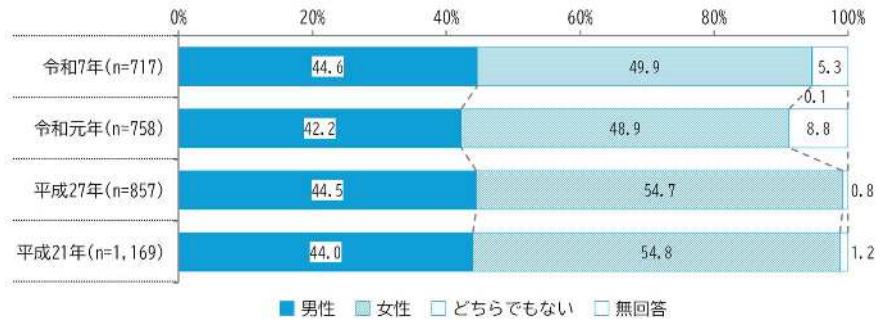
項目	内容		
調査対象	阿久比町にお住まいの18歳以上の町民		
配布数	2,000		
抽出法	無作為抽出		
調査方法	郵送法（郵送による配布・回収）、Web		
回収数	717件(郵送：505件、Web：212件)	回収率	35.8%

II 調査結果

1 回答者について

(1) 性別

回答者の性別構成については、「男性」が44.6%、「女性」が49.9%。



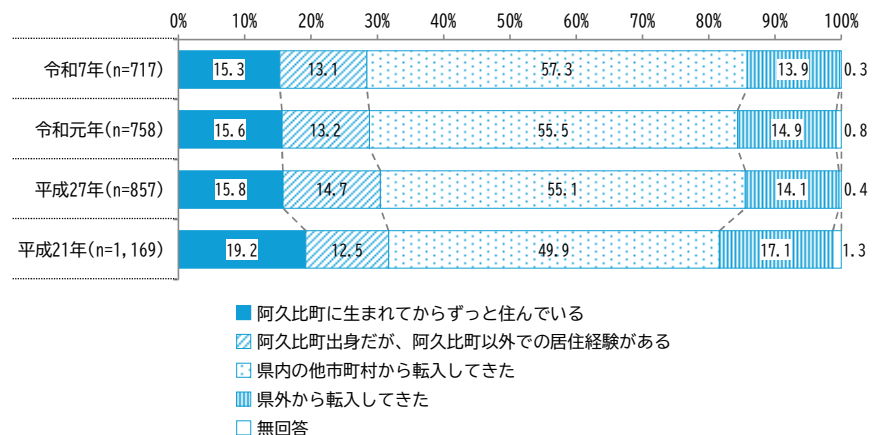
(2) 年齢

回答者の年齢構成については、「70歳以上」が24.1%と最も高く、次いで「40代」(21.2%)、「50代」(19.0%)、「60代」(15.8%)、「30代」(12.3%)、「10代・20代」(7.3%)の順となっている。



(3) 居住歴

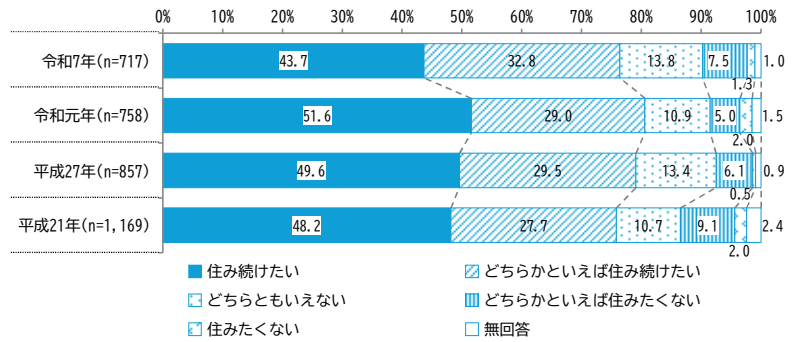
回答者の居住歴については、「県内の他市町村から転入してきた」が57.3%と最も高く、次いで「阿久比町に生まれてからずっと住んでいる」(15.3%)、「県外から転入してきた」(13.9%)、「阿久比町出身だが、阿久比町以外での居住経験がある」(13.1%)の順となっている。



2 まちへの定住意向について

(1) まちへの定住意向

「住み続けたい」が43.7%、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が32.8%、あわせて76.5%

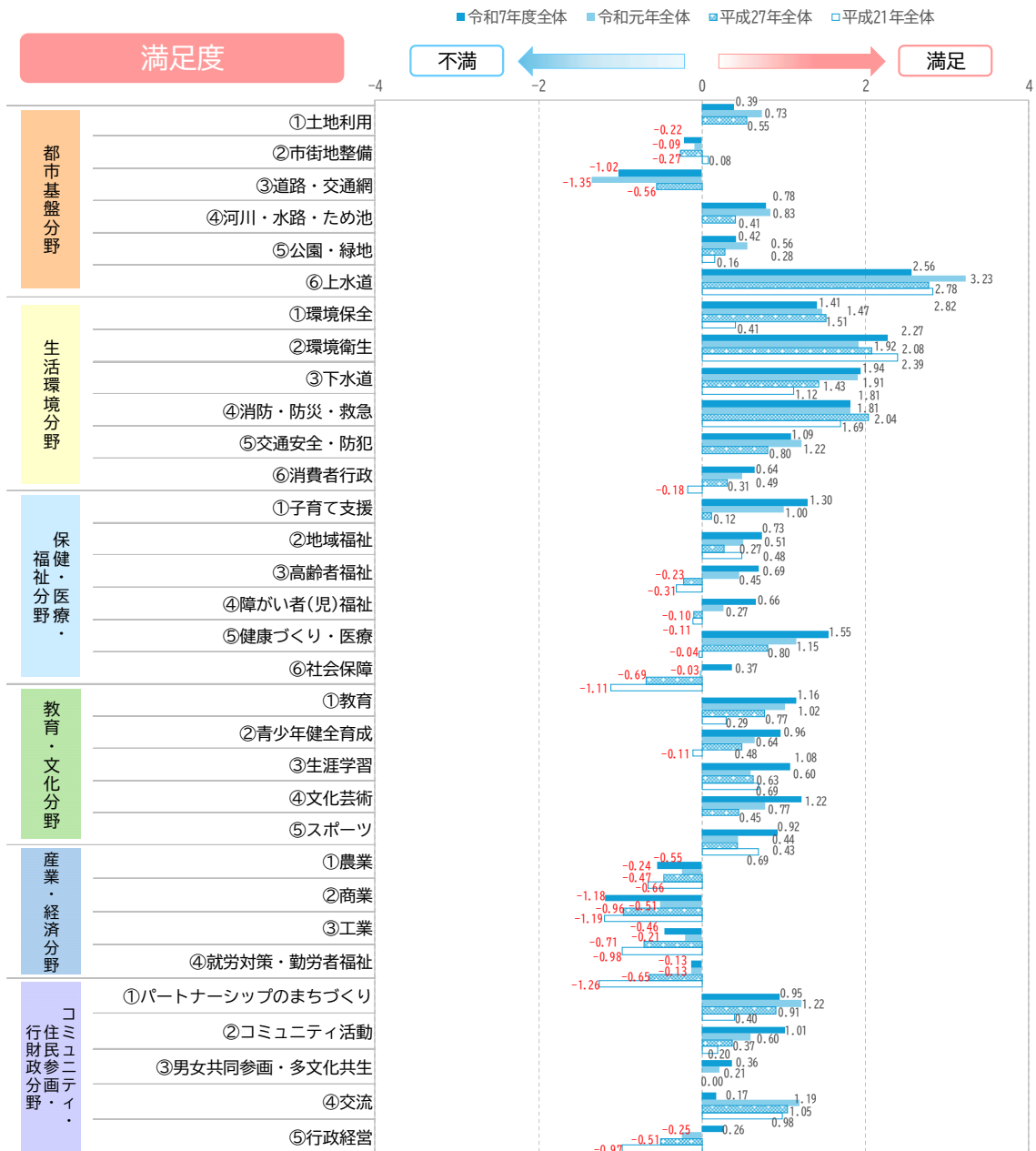


3 まちの現状と今後について

(1) 満足度

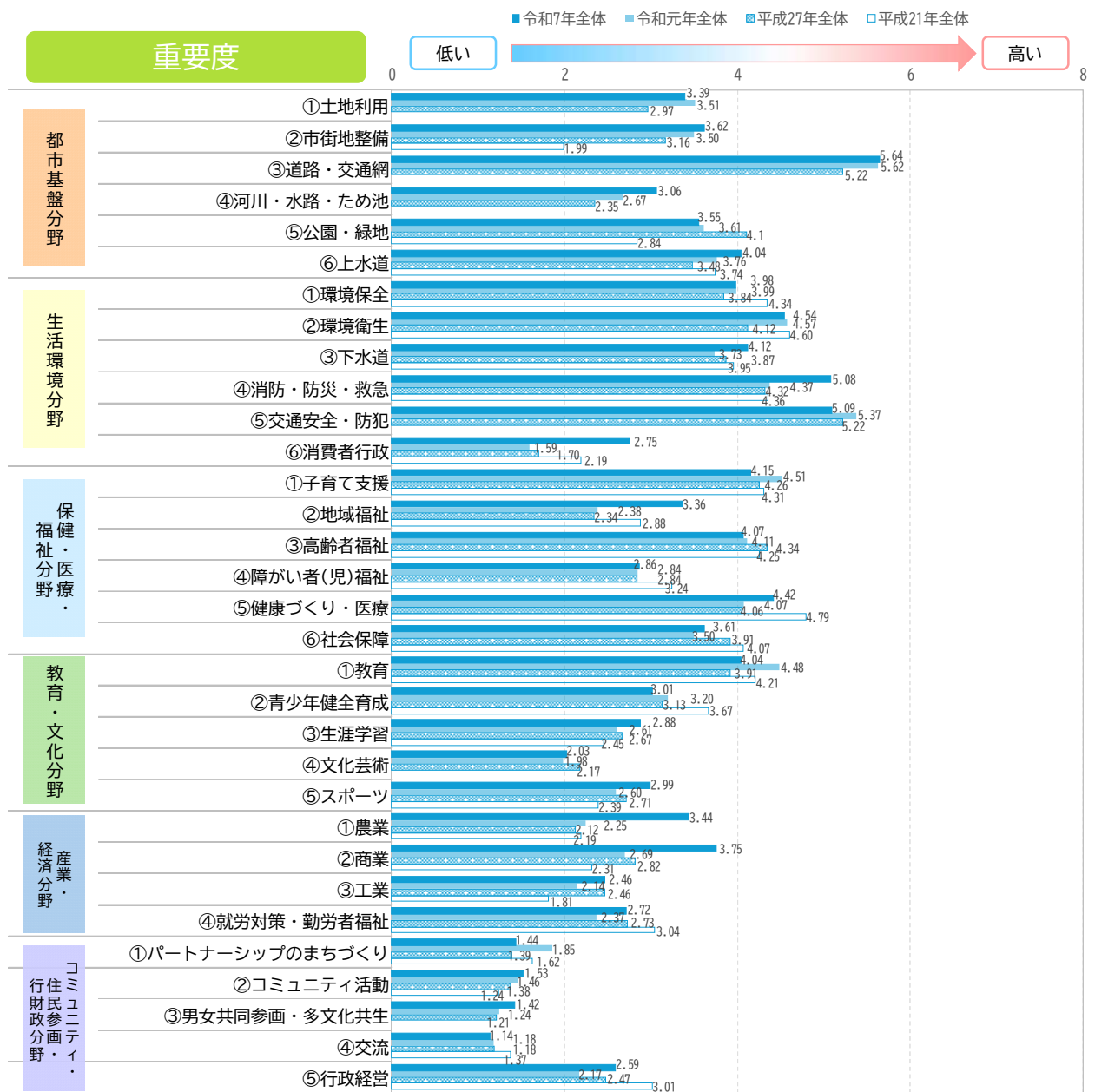
満足度が最も高い項目は「上水道」、次いで「環境衛生」、「下水道」の順。

満足度が最も低い項目は「商業」、次いで「道路・交通網」、「農業」の順。



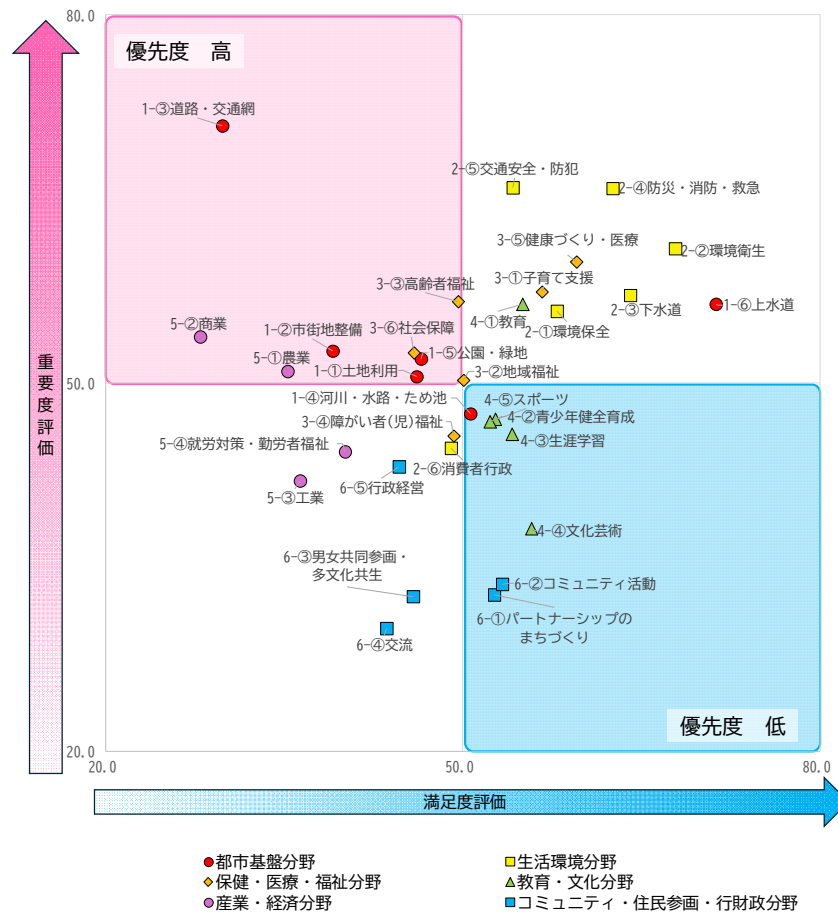
(2) 重要度

重要度が最も高い項目は「道路・交通網」、次いで「交通安全・防犯」、「消防・防災・救急」の順。
重要度が最も低い項目は「交流」、次いで「男女共同参画・多文化共生」、「パートナーシップのまちづくり」、「コミュニティ活動」の順。



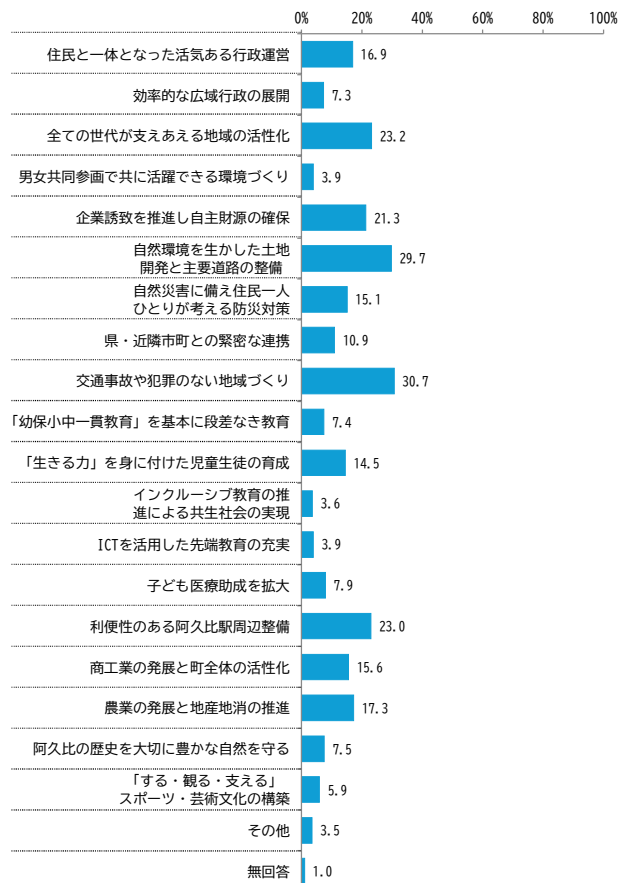
(3) 優先度

優先度が高い項目は「道路・交通網」、「商業」、「市街地整備」、優先度が低い項目は「パートナーシップのまちづくり」、「コミュニティ活動」、「文化芸術」。



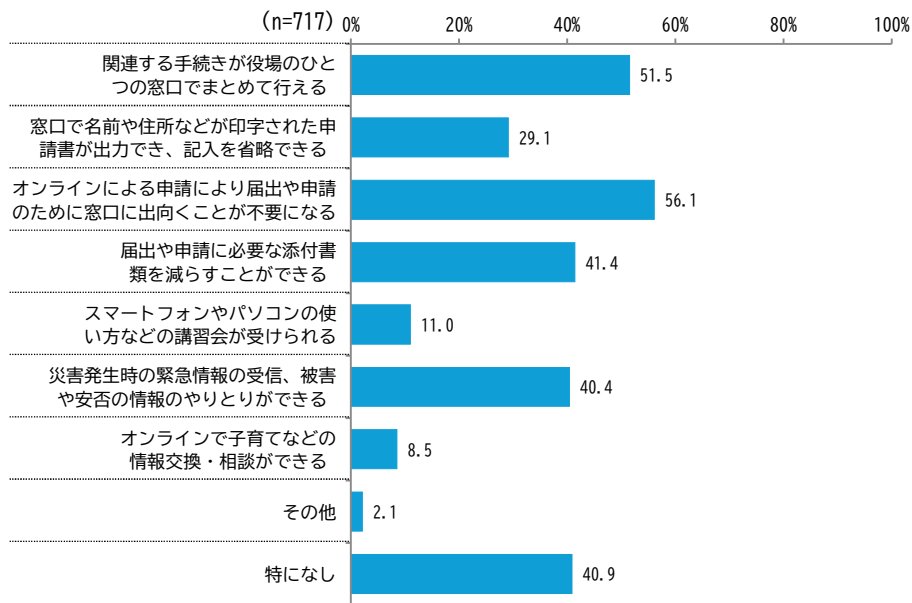
(4) 阿久比町の夢ある未来へのまちづくり

「交通事故や犯罪のない地域づくり」が30.7%、次いで「自然環境を生かした土地開発と主要道路の整備」が29.7%。



(5) デジタル技術を活用した行政サービスの期待

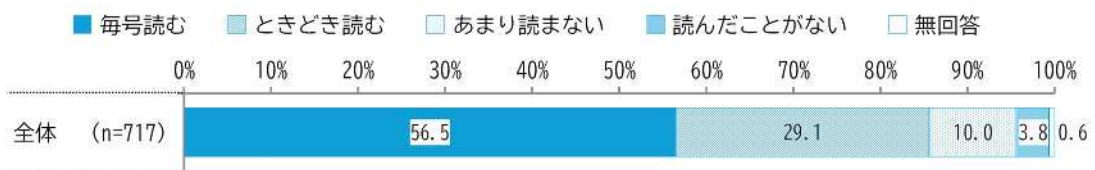
「オンラインによる申請により届出や申請のために窓口に出向くことが不要になる」が56.1%、次いで「関連する手続きが役場のひとつの窓口でまとめて行える」が51.5%。



4 阿久比町の広報について

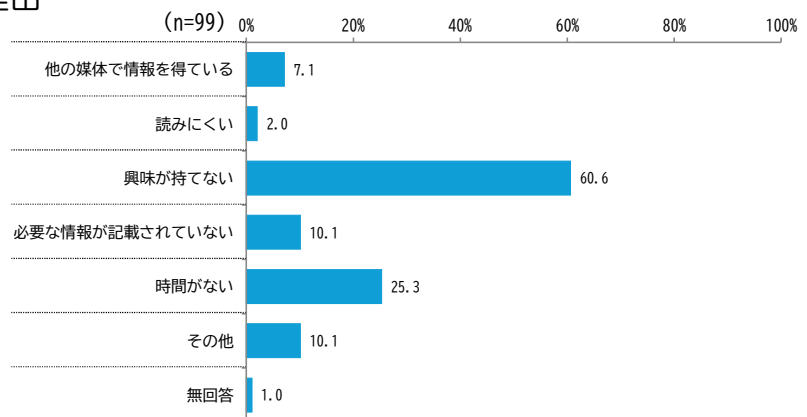
(1) 「広報あぐい」の閲読

「毎号読む」が56.5%、次いで「ときどき読む」が29.1%。



(2) 「広報あぐい」を閲読しない理由

「興味がない」が60.6%、次いで「時間がない」が25.3%。



(3) 「広報あぐい」の満足度

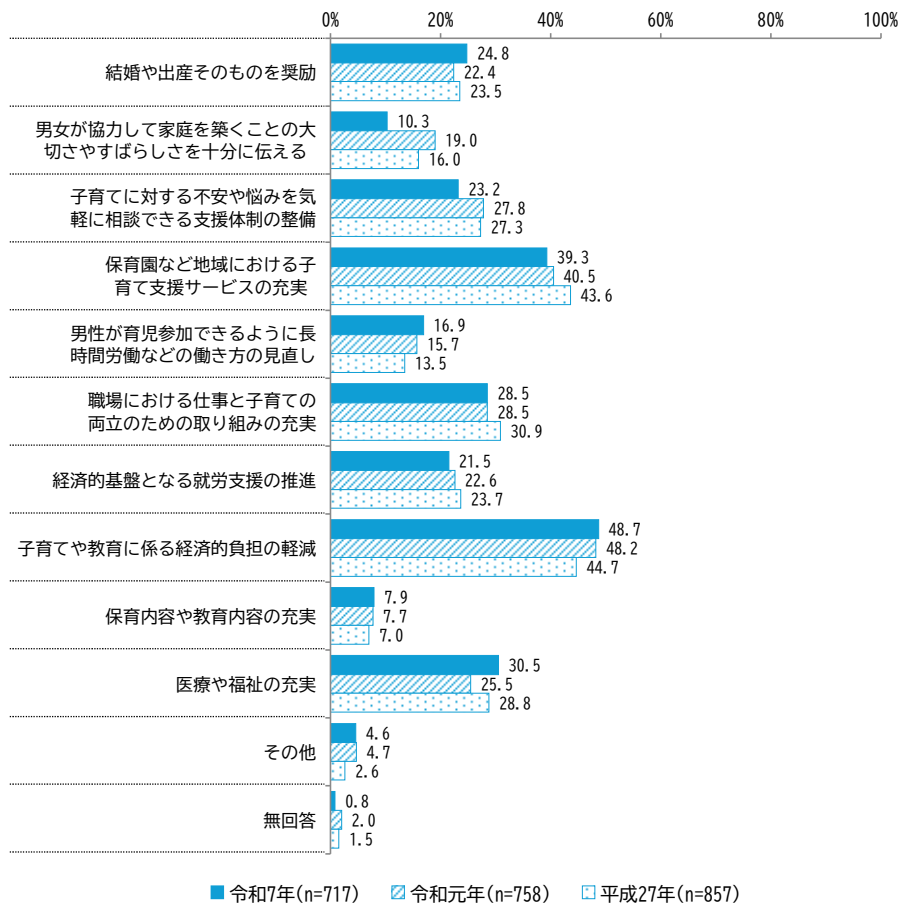
「ふつう」が43.8%、次いで「おおむね満足」が40.0%。



5 少子高齢化について

(1) 人口減少、少子高齢化

「子育てや教育に係る経済的負担の軽減」が48.7%、次いで「保育園など地域における子育て支援サービスの充実」が39.3%。



6 住みやすさについて

(1) 住みやすさを感じる点

「名古屋や三河への交通が便利」が46.7%、次いで「自然が保護されている」が23.4%。

